

俺は自分の
見た目が
嫌いだっ
た。

綺麗な
カワイイ
女にな
れたら

どれほど
楽しいん
だろうな
？

醜い気持
ち悪い。

だからず
っと思っ
てたのさ。

俺と同じ
目にあわ
せてやり
たいと思
っていた。

それと同
時に

そんな奴
らを





いい気分だ。

お前たちは
こんな気分で
俺たちを
見下してたんだな。



……狂ってる！

そんな事許されると
思ってるの？

早くその銃で
元に戻さないさいよ！



そうだなあ。

戻してやっても
良いぜ？

ただし



つまり



銃を使うのは
一度きりだ。

弾丸がないからな。

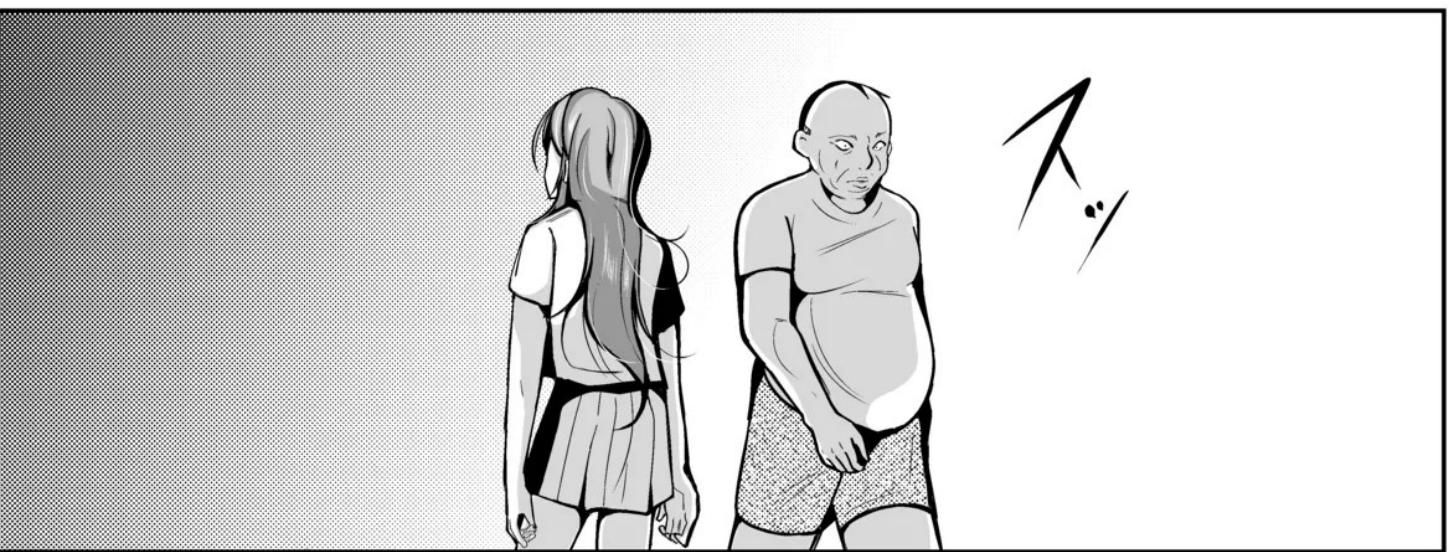


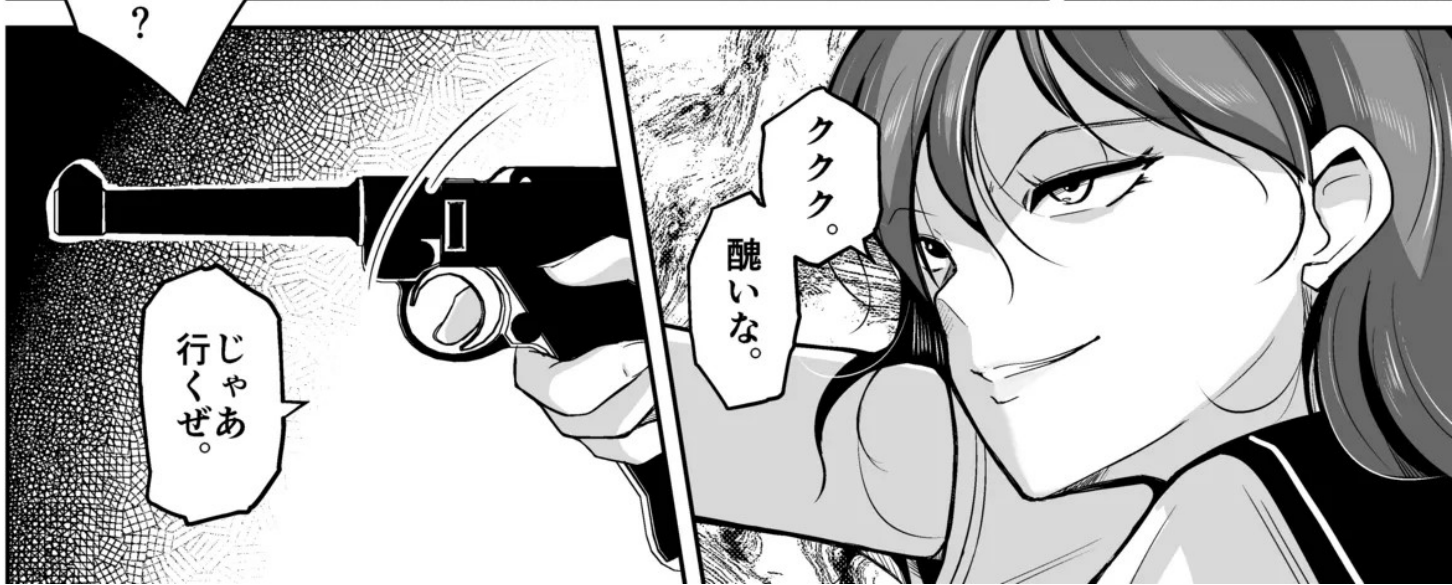
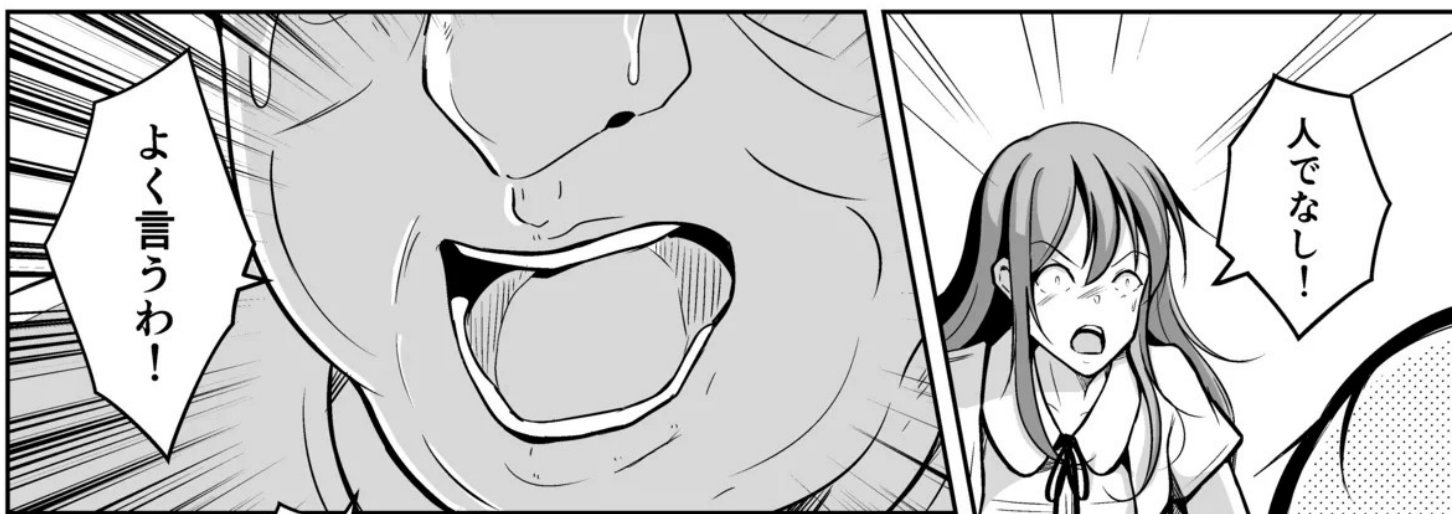
お前が
元に戻るって事は

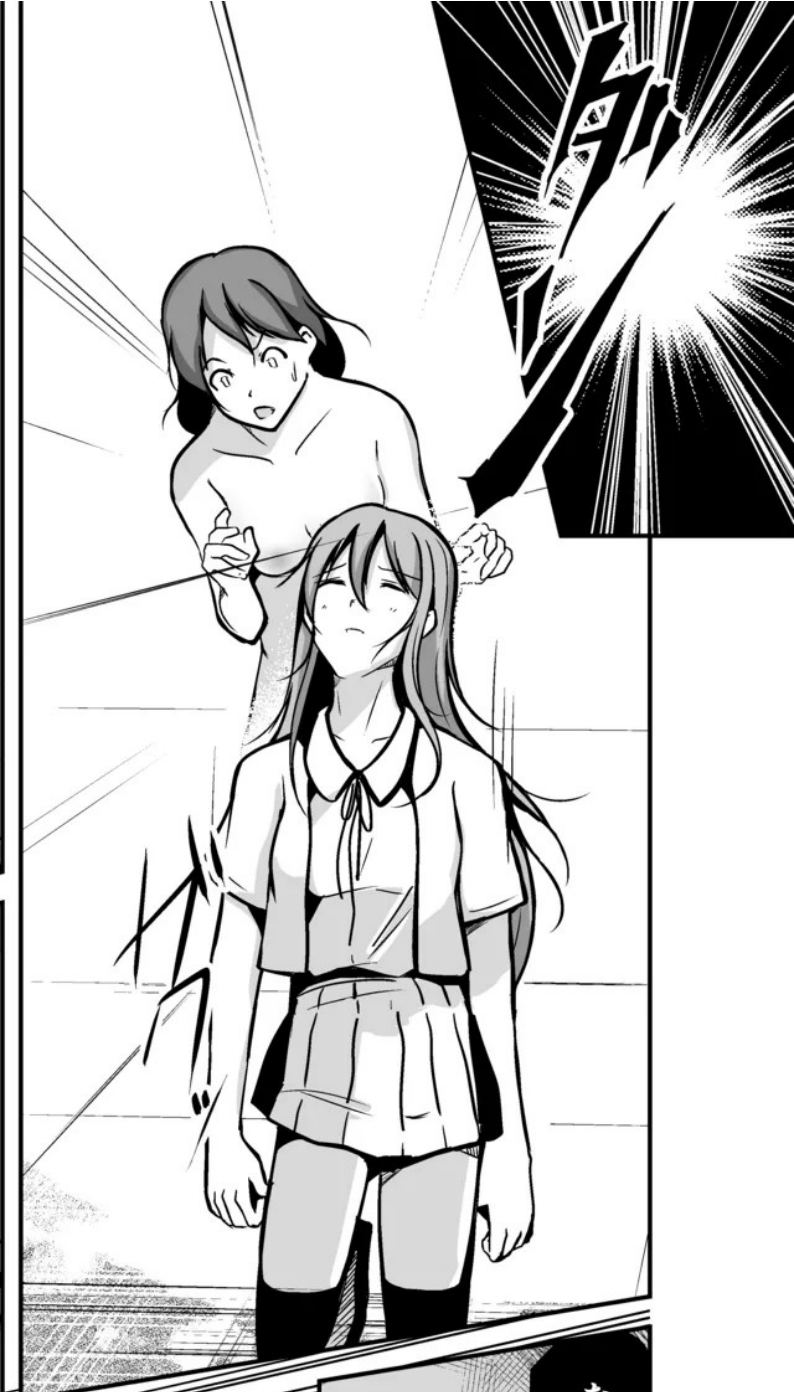
そいつが
俺の身体に
なるって
事なんだが。



それでも
構わないなら
やっても良いぜ？





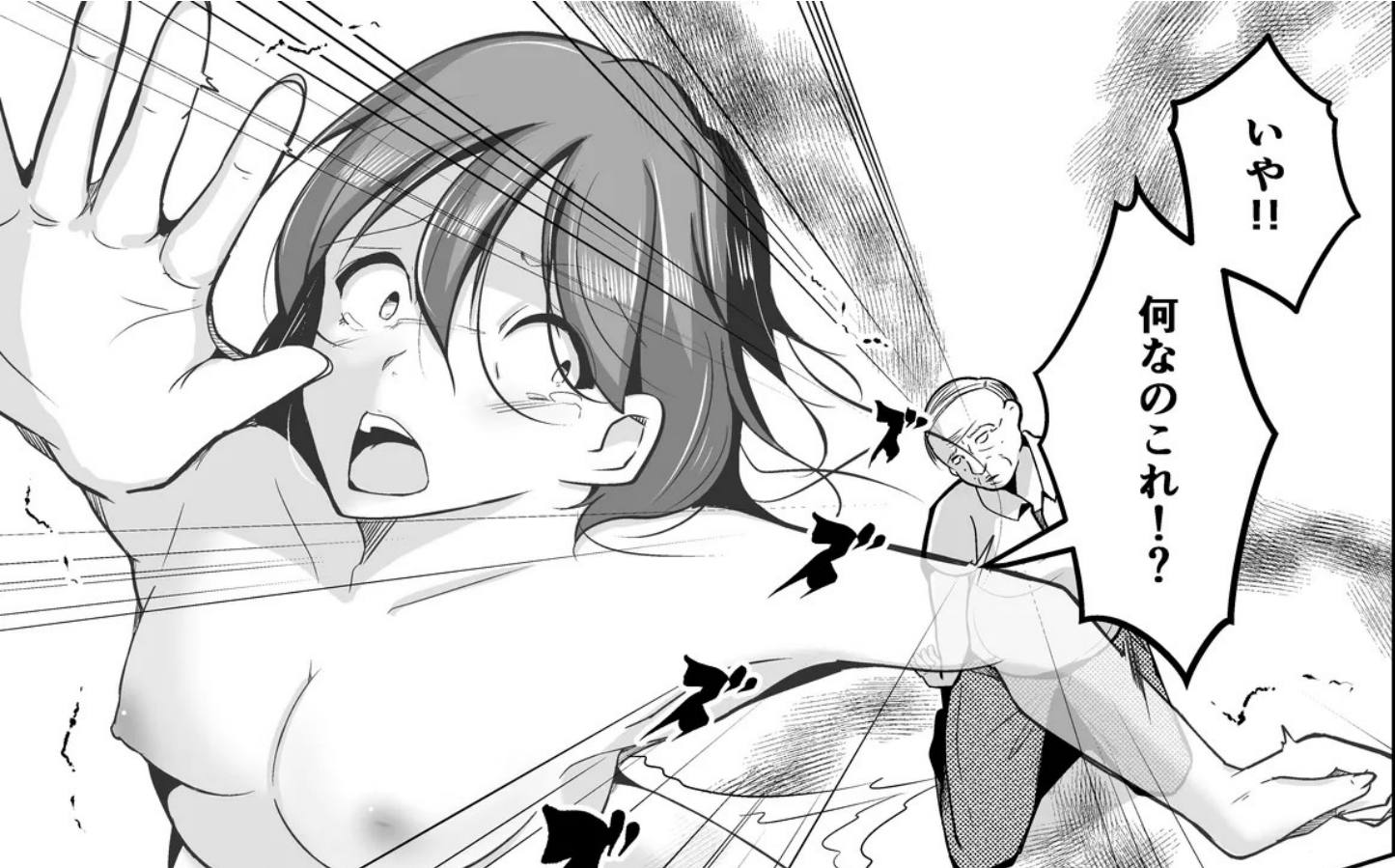


ああ。
良かった。
これで私は
元に戻る……。



なんてな！





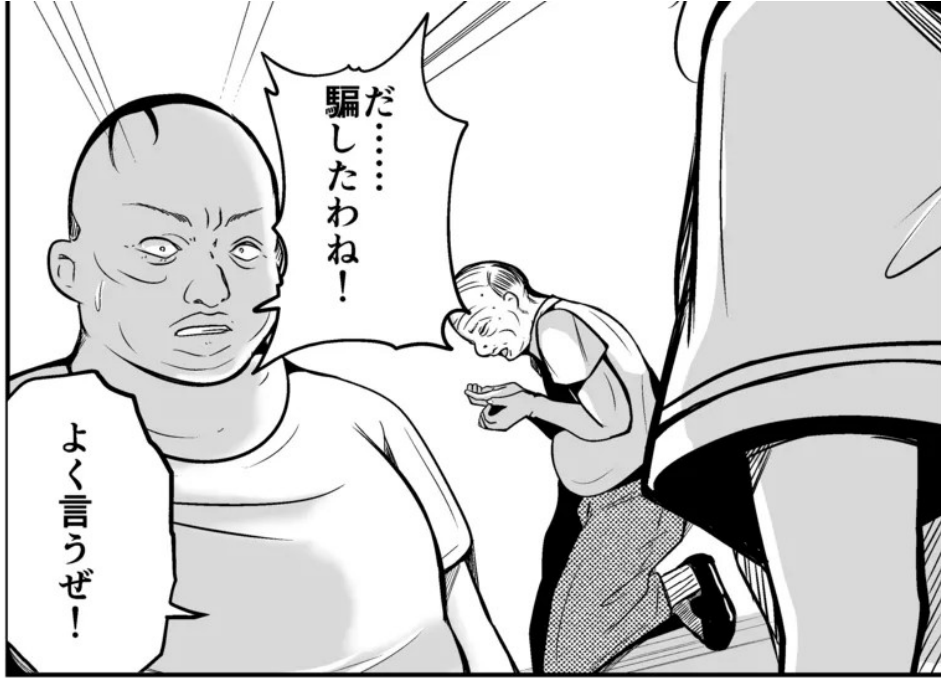
いや!!
何なのこれ!?



ちづ...

助けて!

...



だ……
騙したわね!

よく言っぜ!



ぐっ……

お前だって
自分だけ
助かろうとした

クズじゃねーか。



気が
変わったんだよ。

それにな……



いやあああッ!



本人の前で
俺の身体を

まるで
汚物かのように
扱いやがって。



味あわせて
やりたくなるわな！

だったら
一生その苦しみを



ついてる
なんて……。

こんな
汚らしいものが

私に……。

嘘いや……



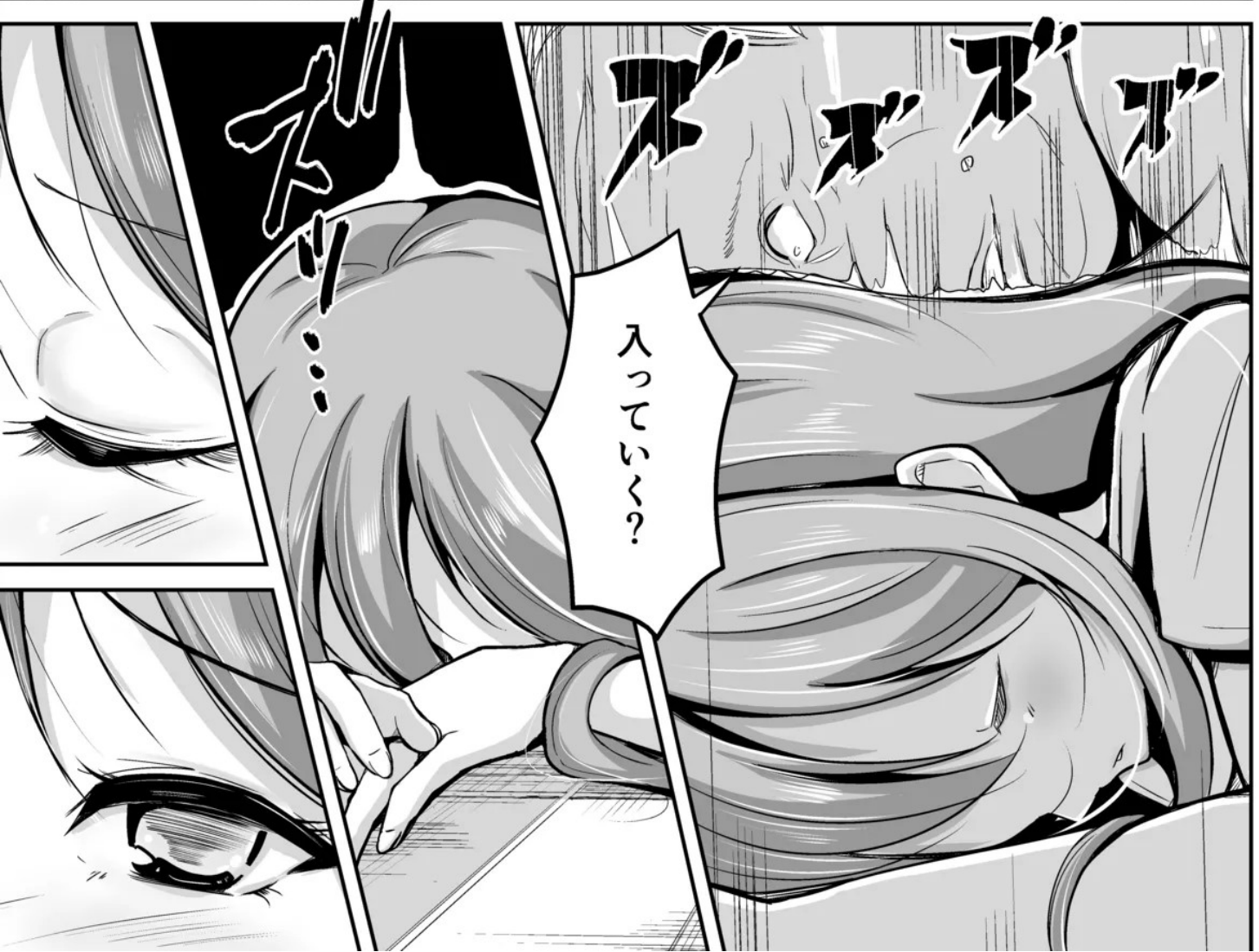
な……
何だ!?

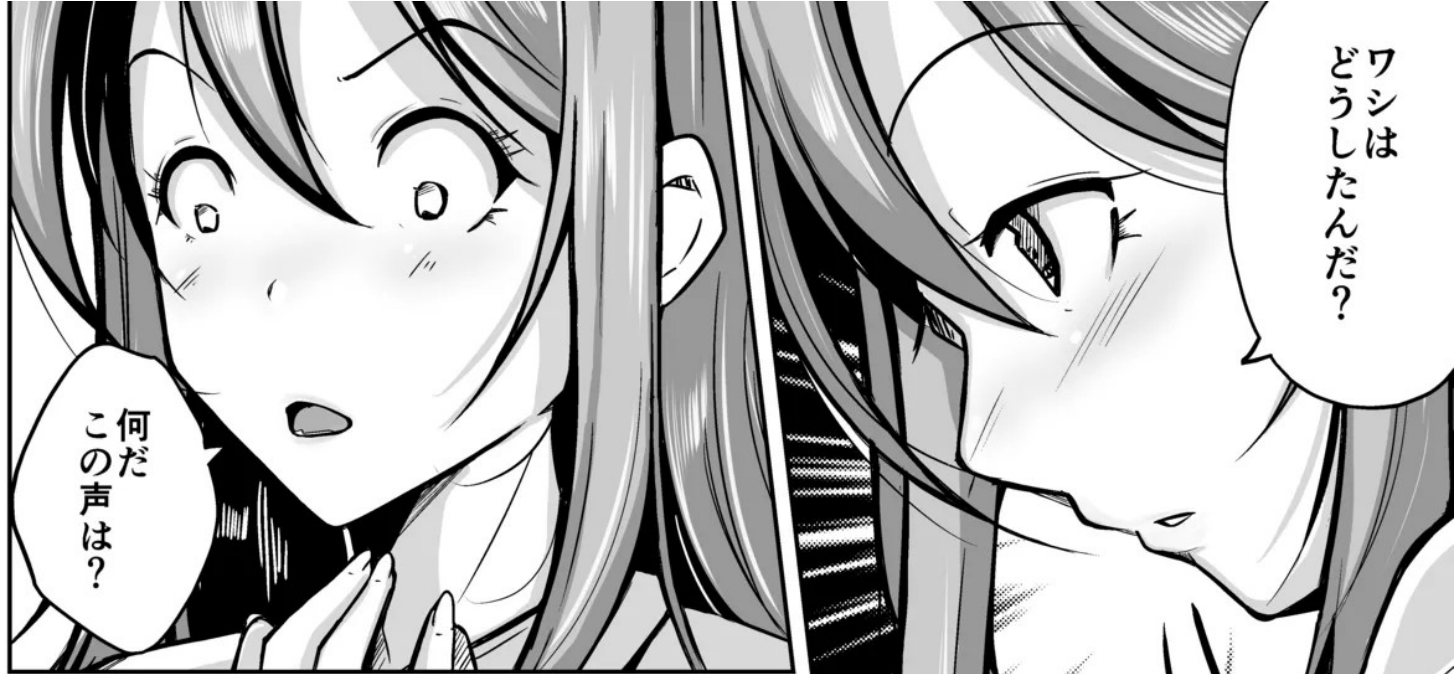
何故ワシが
動いている?

どういう事だ?



吸い込まれて
いく?





ワシはどうしたんだ?

何だこの声は?



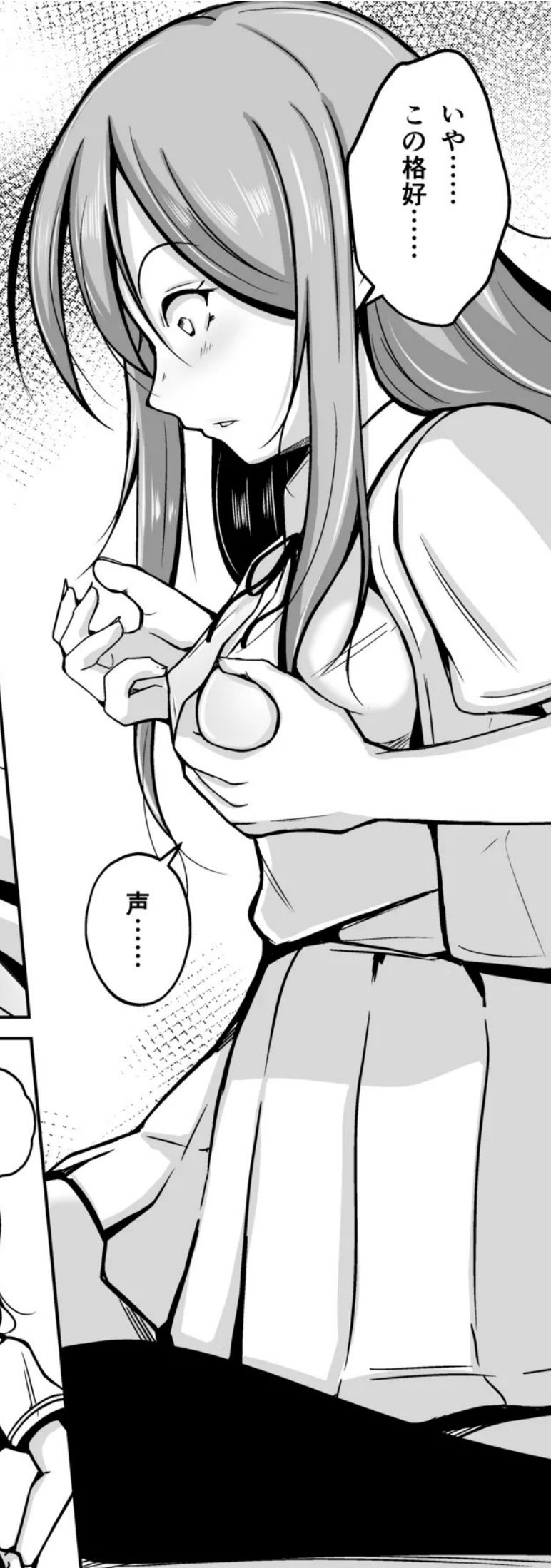
なんじゃこれは?



……ん?



ワシがスカートをはいている!?





そこに
自分がいるだろ？

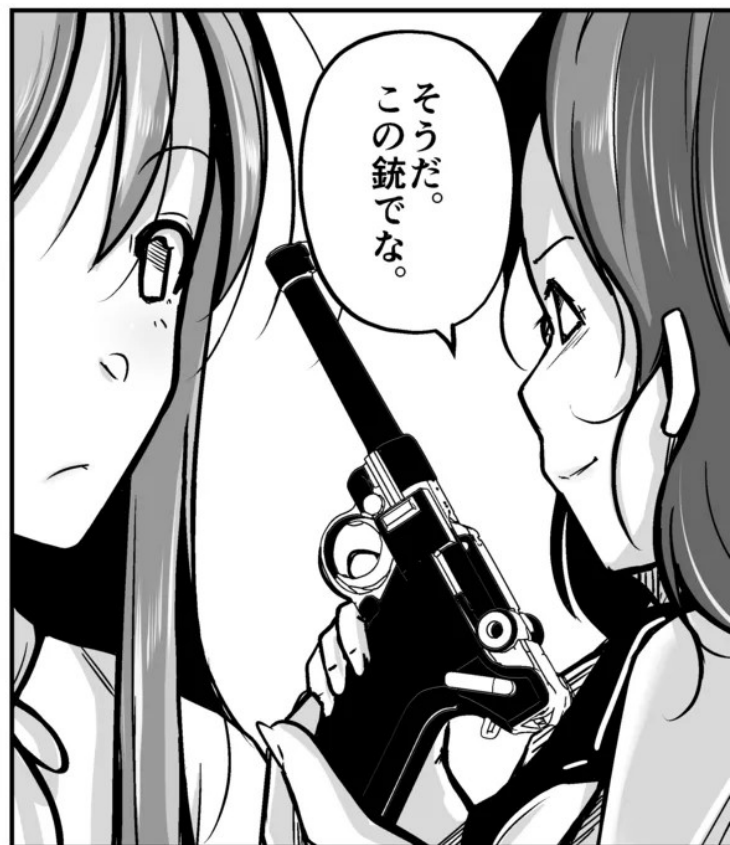
お前たちの
身体が
入れ替わったんだよ。

君が
やったのか？



俺も元々は
あんな身体
だったんだ。

なるほど



そうだ。
この銃だな。



ああ。

だが今は
いい気分だ。

ワシもだよ。

礼を言うよ。

君も苦勞
してたんだな。



しかも
美少女ときたもんだ。



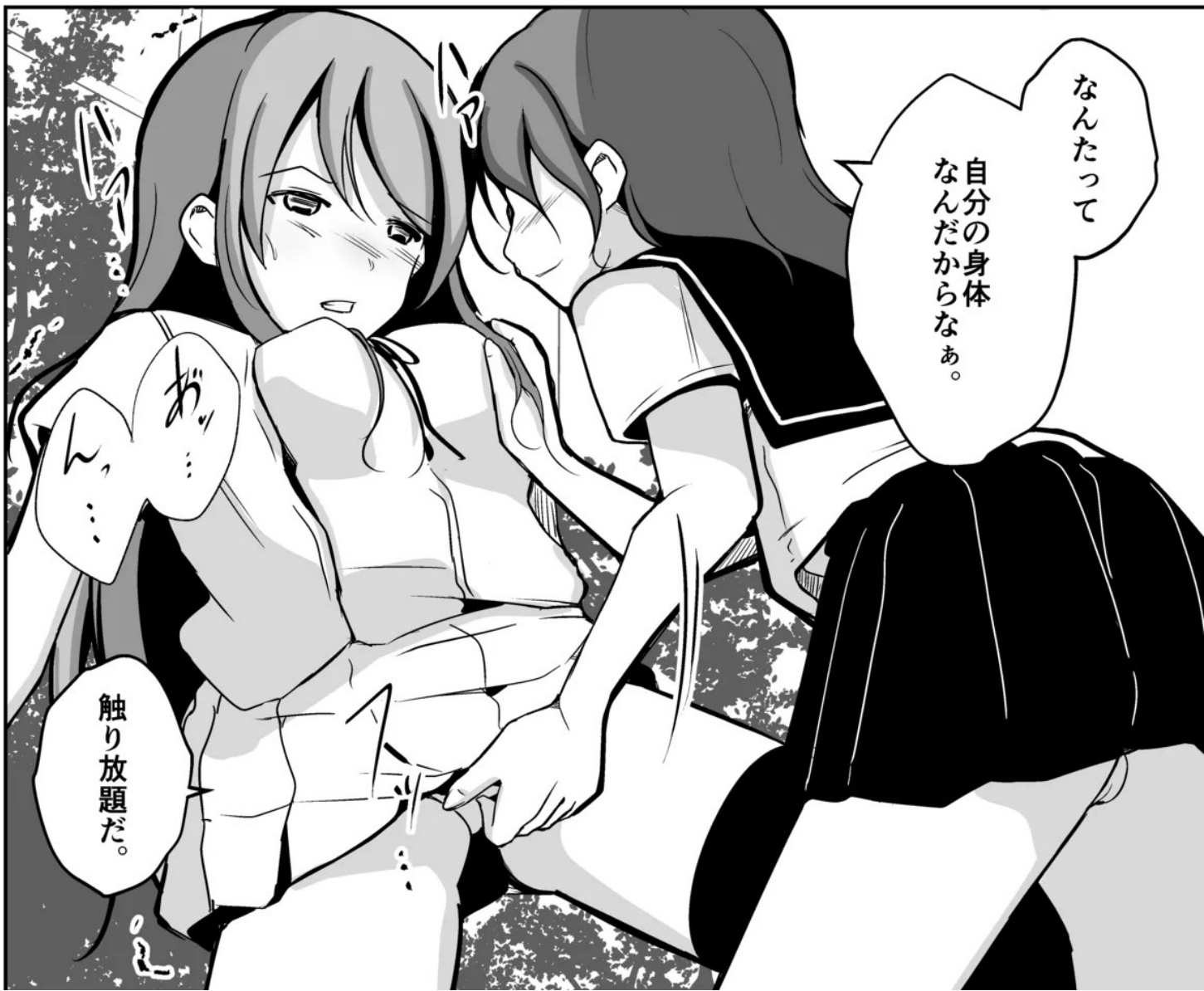
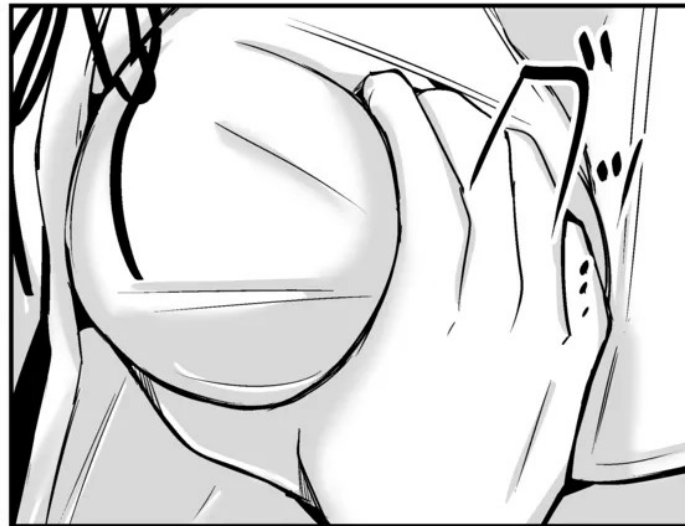
見るだけ
じゃないぞ。



センズリをこく
のはもどかしいが

いつでも
女の身体を

見れるってのは
悪い気はしないね。



女になって
こんな事を
されるなんて……

ここ
気持ちいいだろ？

んっ

なんだ？
この感じ……。

はあ

知らんぞ！
こんな快感！

んっ



内側から
じわつとら

快感が広がって
くるだろ？



声に
ならないよなあ。



わかるぜ。
その感覚。



今までの
ワシの人生に……

こんな
快感は……っ！



俺も最初は
そうだったからな。

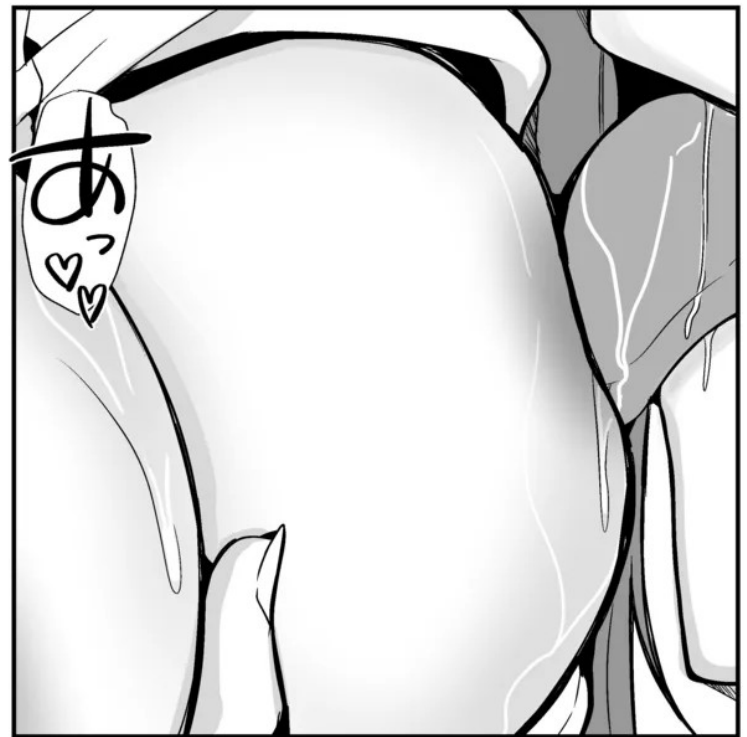
男には
刺激が
強すぎるよなあ。

あ
あ
あ



女
づ
つ
い
な
あ。

性
差
で
こ
ん
な
に
も
違
う
と
は。



あ
っ
っ
っ



ア
ン
タ
ば
っ
じ
や
り
楽
し
ん
で
な
い
で

俺
の
方
も
頼
む
よ。



女の子と
やれるって言う
男としての衝動と

未知なる
女の快感。

凄い!
凄すぎる!

いいぞ。
そのまま
ゆっくり弄ってくれ。

あッ♡

くちゅ
くちゅ
くちゅ



ワシは今、
人生で
初めての快感を
同時に……







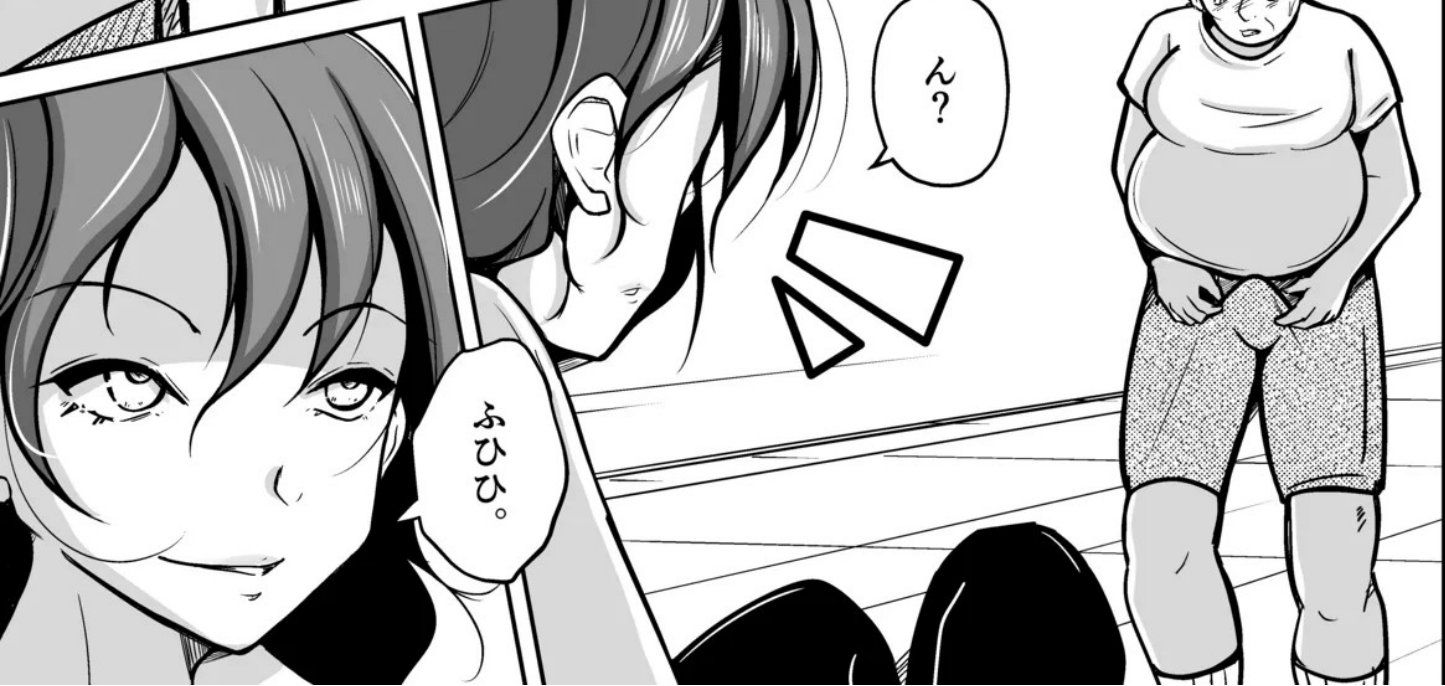
.....どうして?
どうしてなの?

あッ

何で私.....
自分のあんな姿を
見て



こんなモノを
大きくさせてるの?



ん?

あら。



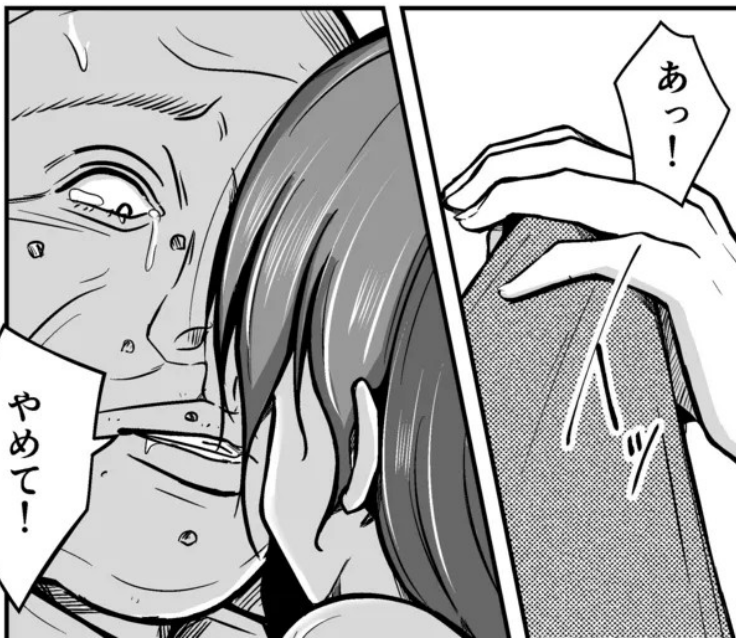
男だったら
当たり前だ。

お前、自分の姿を見て
勃起してるのか?

違っ……!!



おふひ。
お前もか。



やめて!

あっ!

まあ。
隠すなよ。



ギンギン
じゃねーか。

どんな
気持ちだ？

元自分の手で

自分のちんこを
扱われるってのは？



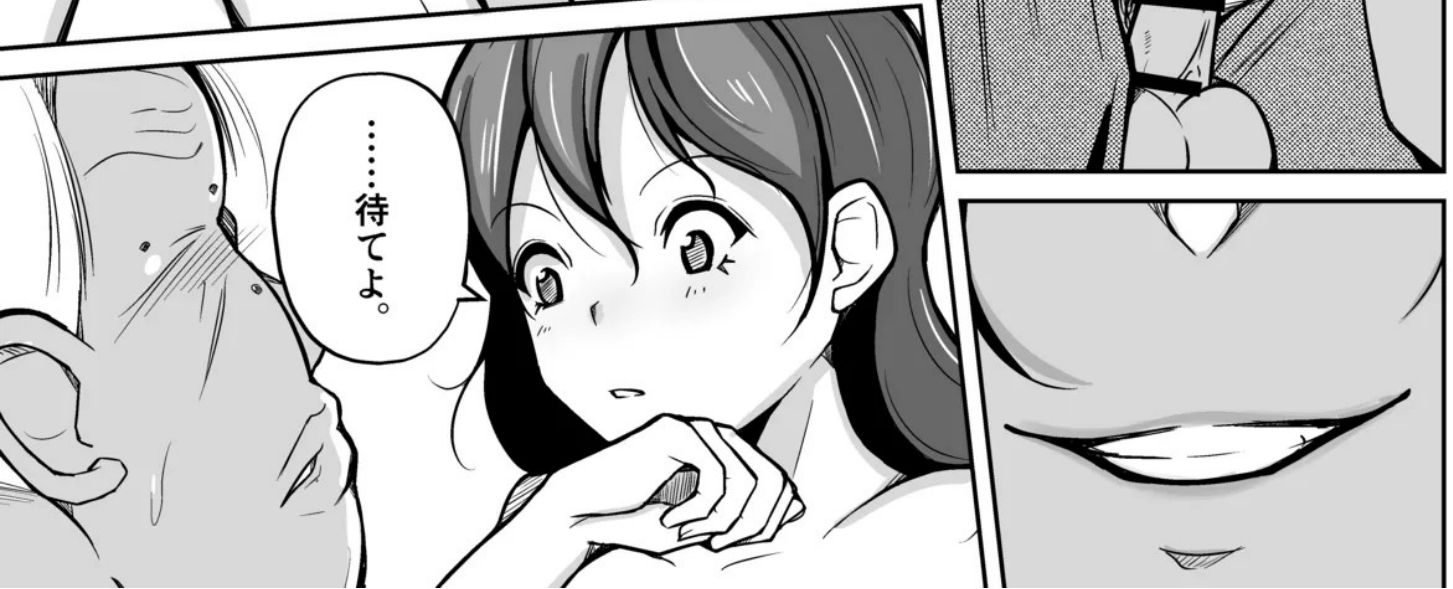
やいや……
やめて。

元に戻して。

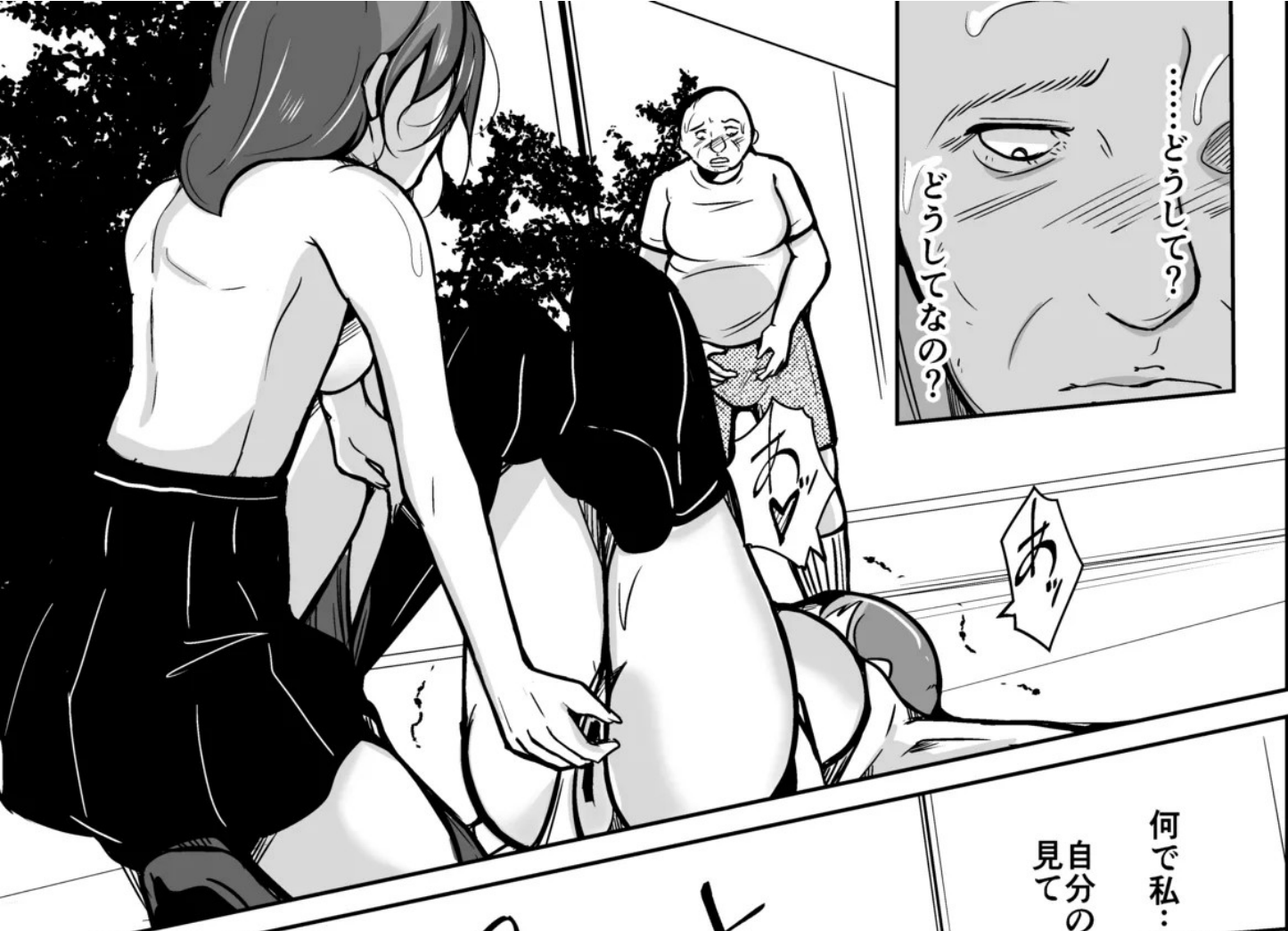
随分と女の身体にも
馴染んできたし

そろそろ挿入してみても
良いかなあ。

ダメ！
それだけは！



……
待てよ。



.....どうして?
どうしてなの?

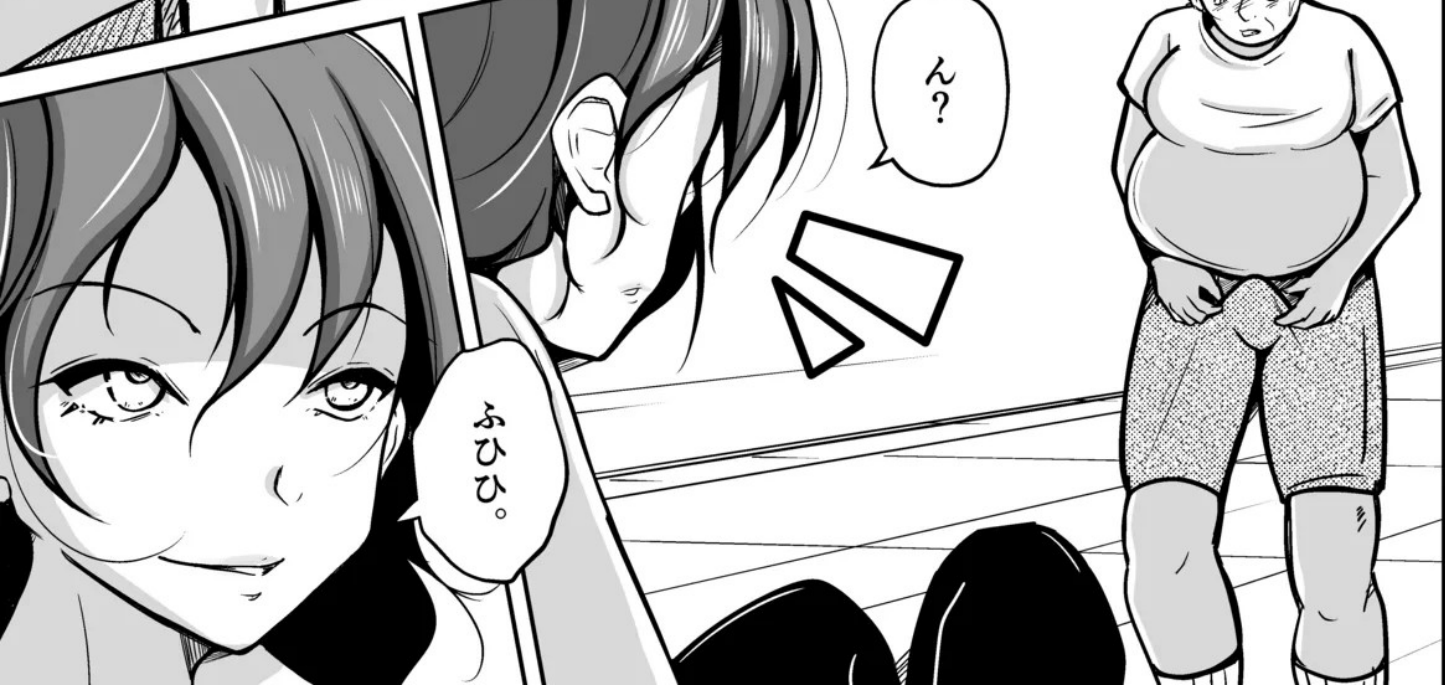
あッ

何で私.....
自分のあんな姿を
見て



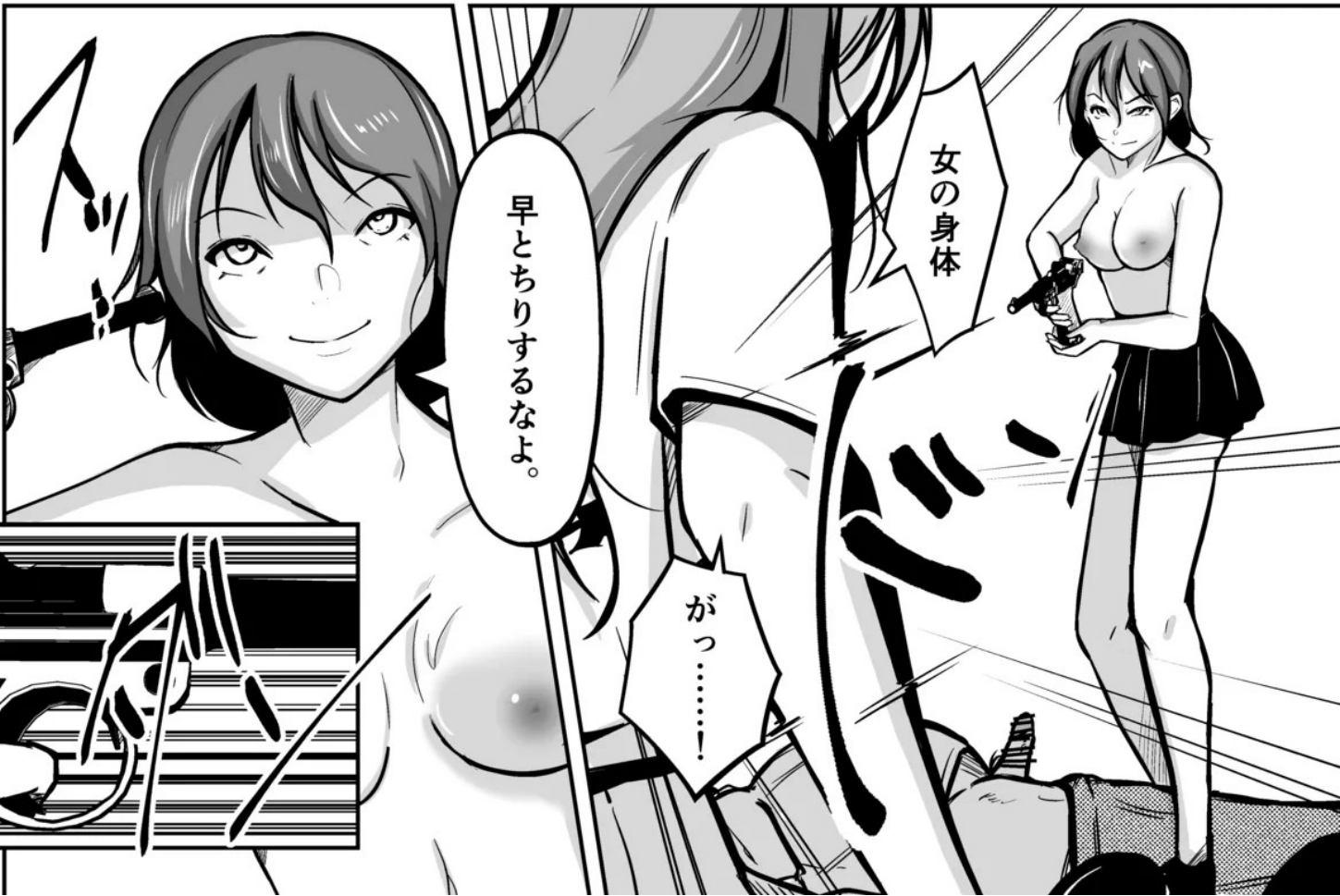
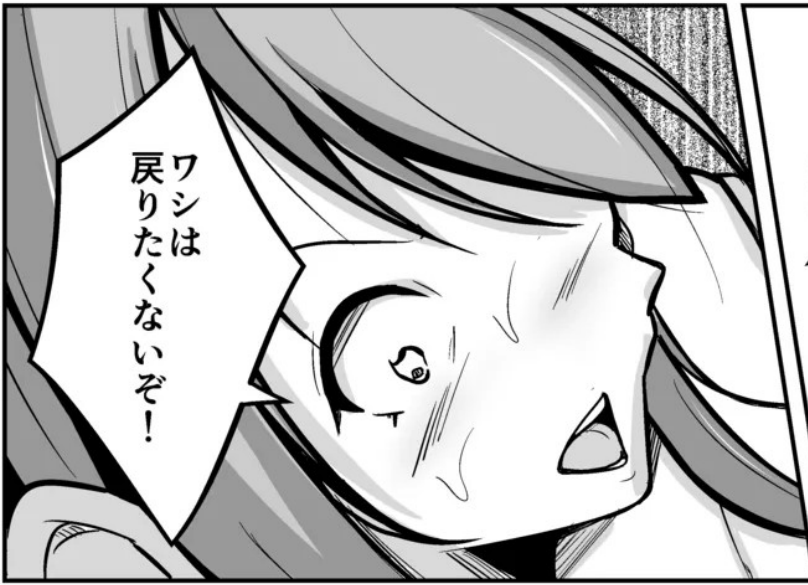
あッ

こんなモノを
大きくさせてるの?



あら。

ん?





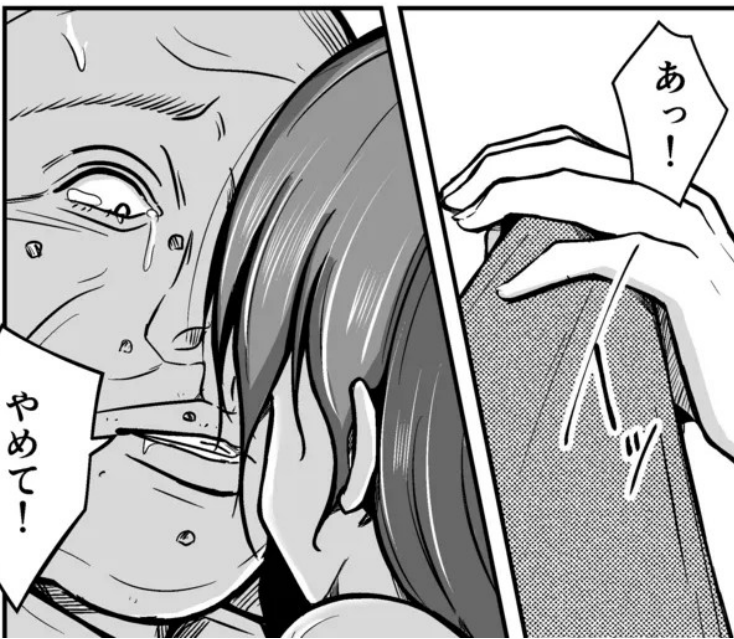
男だったら
当たり前だ。

お前、自分の姿を見て
勃起してるのか？

違っ……！！



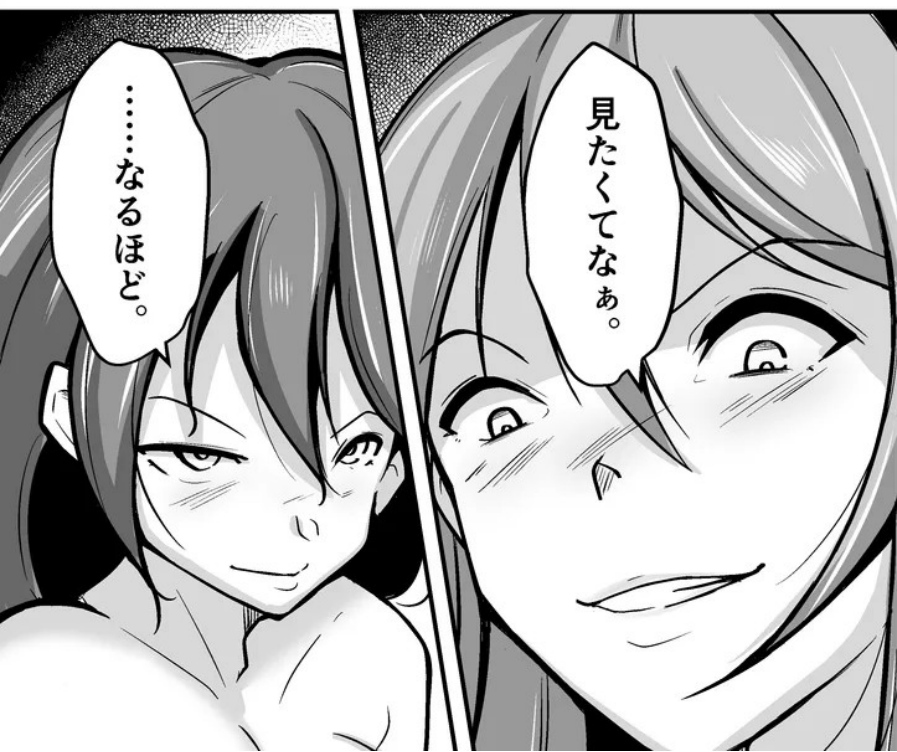
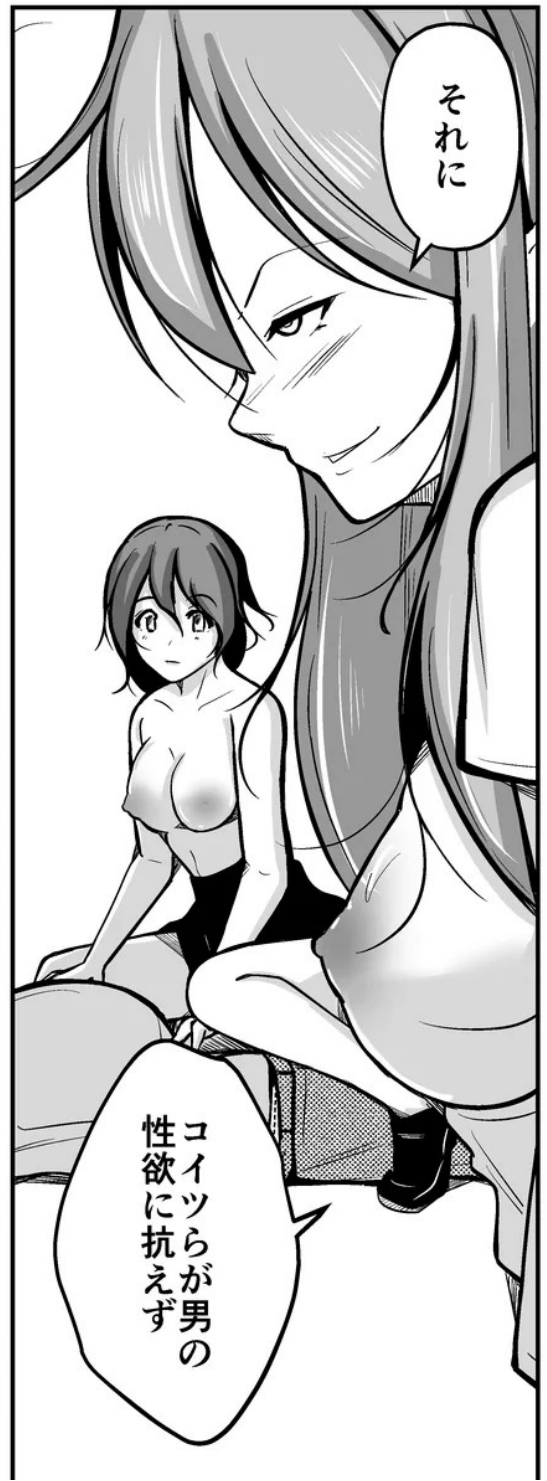
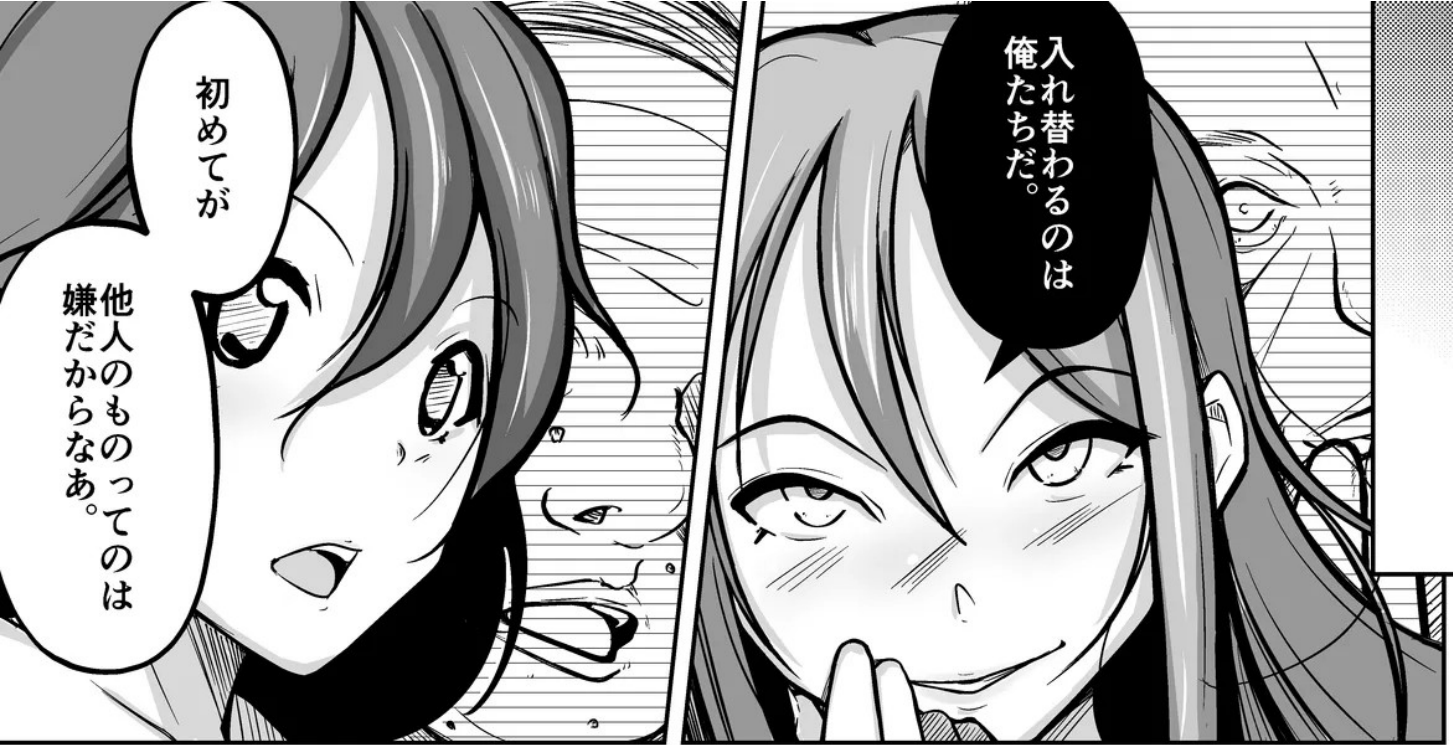
おふひ。
お前もか。



やめて！

あっ！

まあ。
隠すなよ。



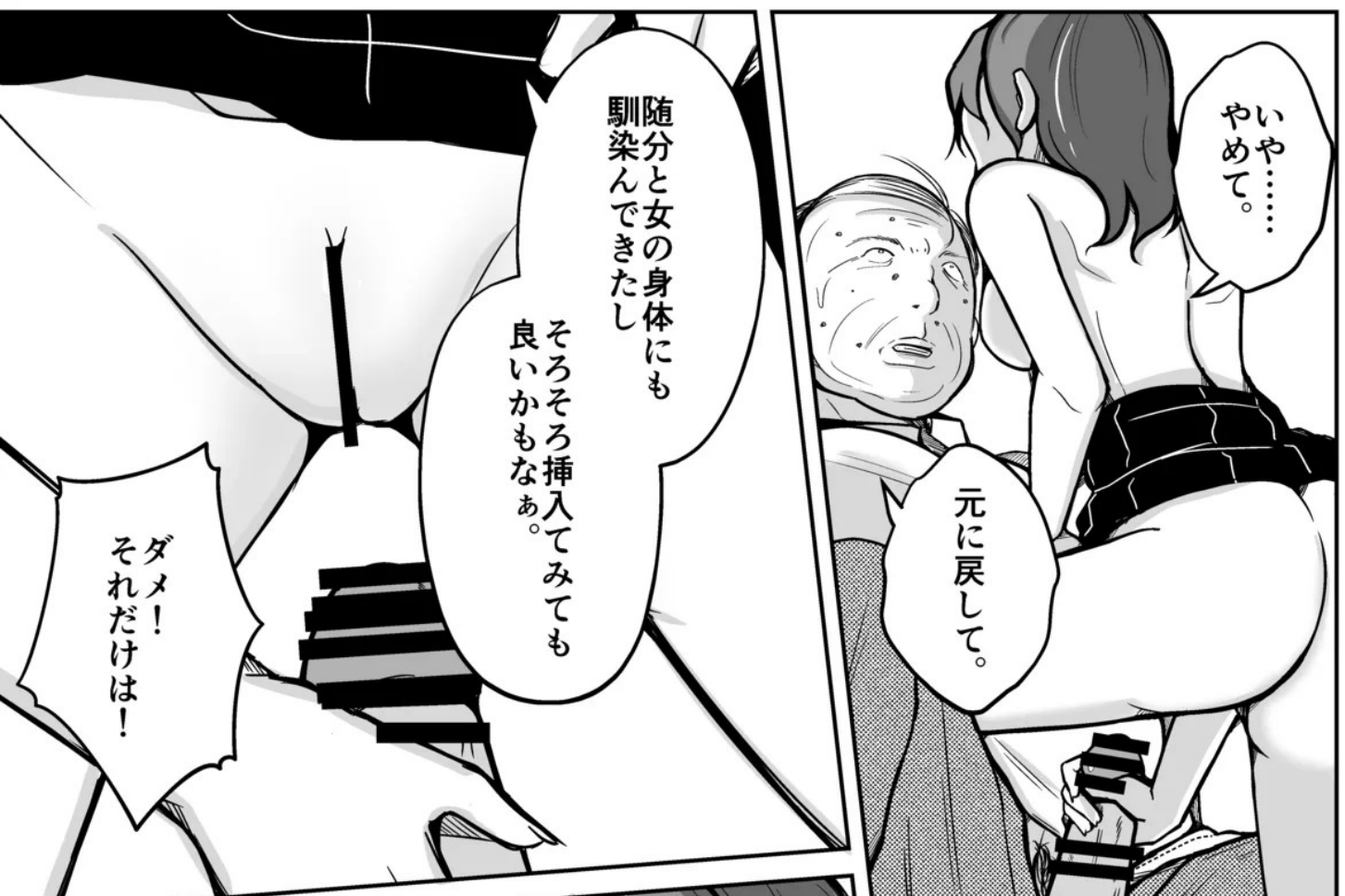


ギンギン
じゃねーか。

どんな
気持ちだ？

元自分の手で

自分のちんこを
扱われるってのは？



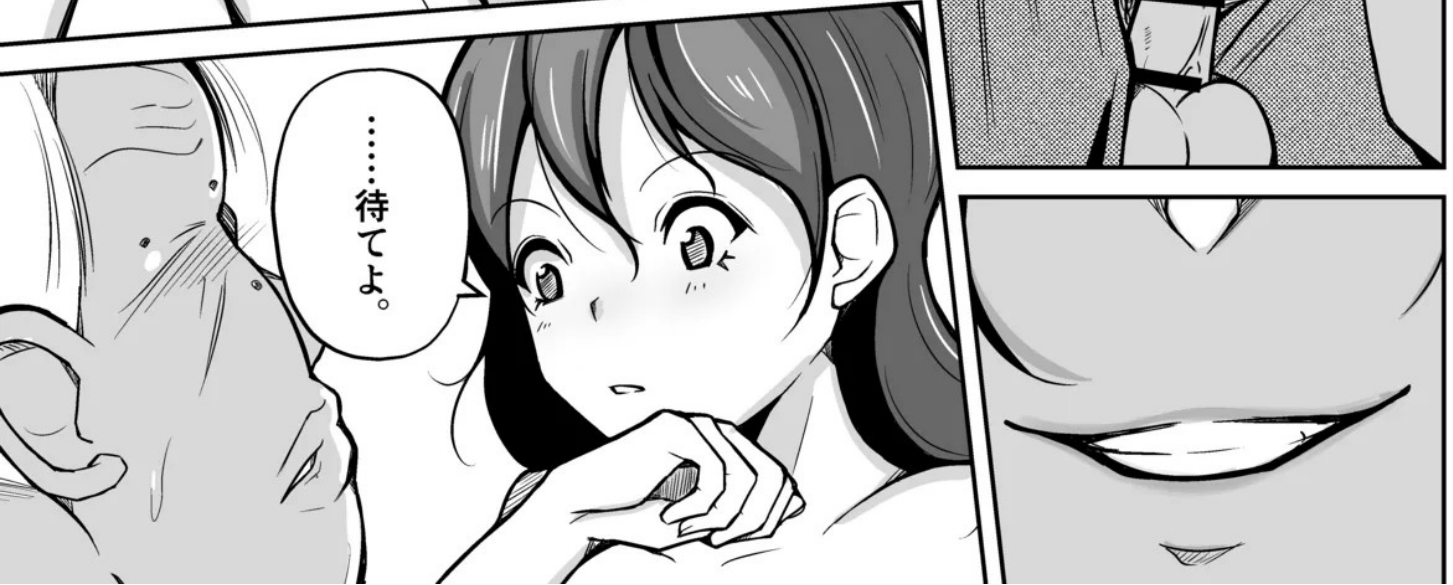
やいや……
やめて。

元に戻して。

随分と女の身体にも
馴染んできたし

そろそろ挿入してみても
良いかもなあ。

ダメ！
それだけは！



……
待てよ。



おっと、

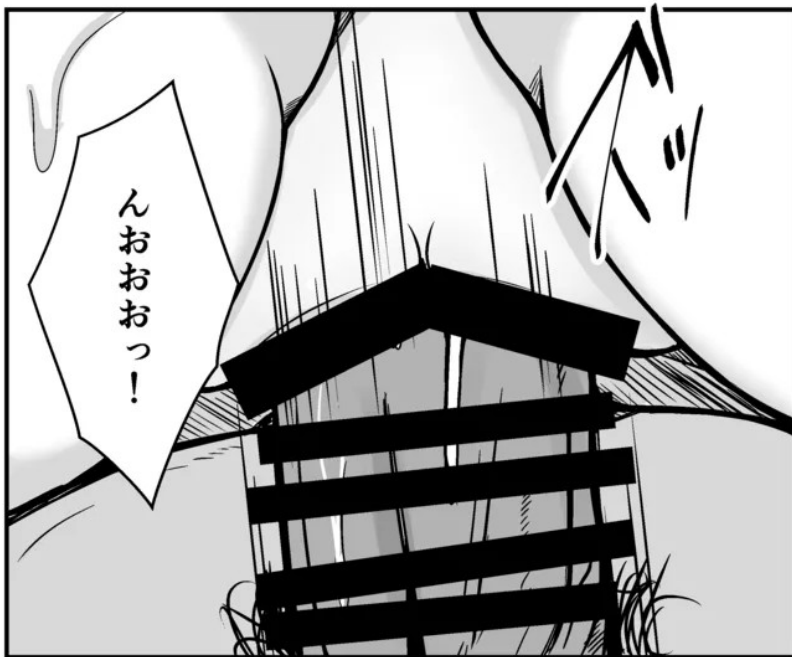
もう
ワシの身体
じゃないか。



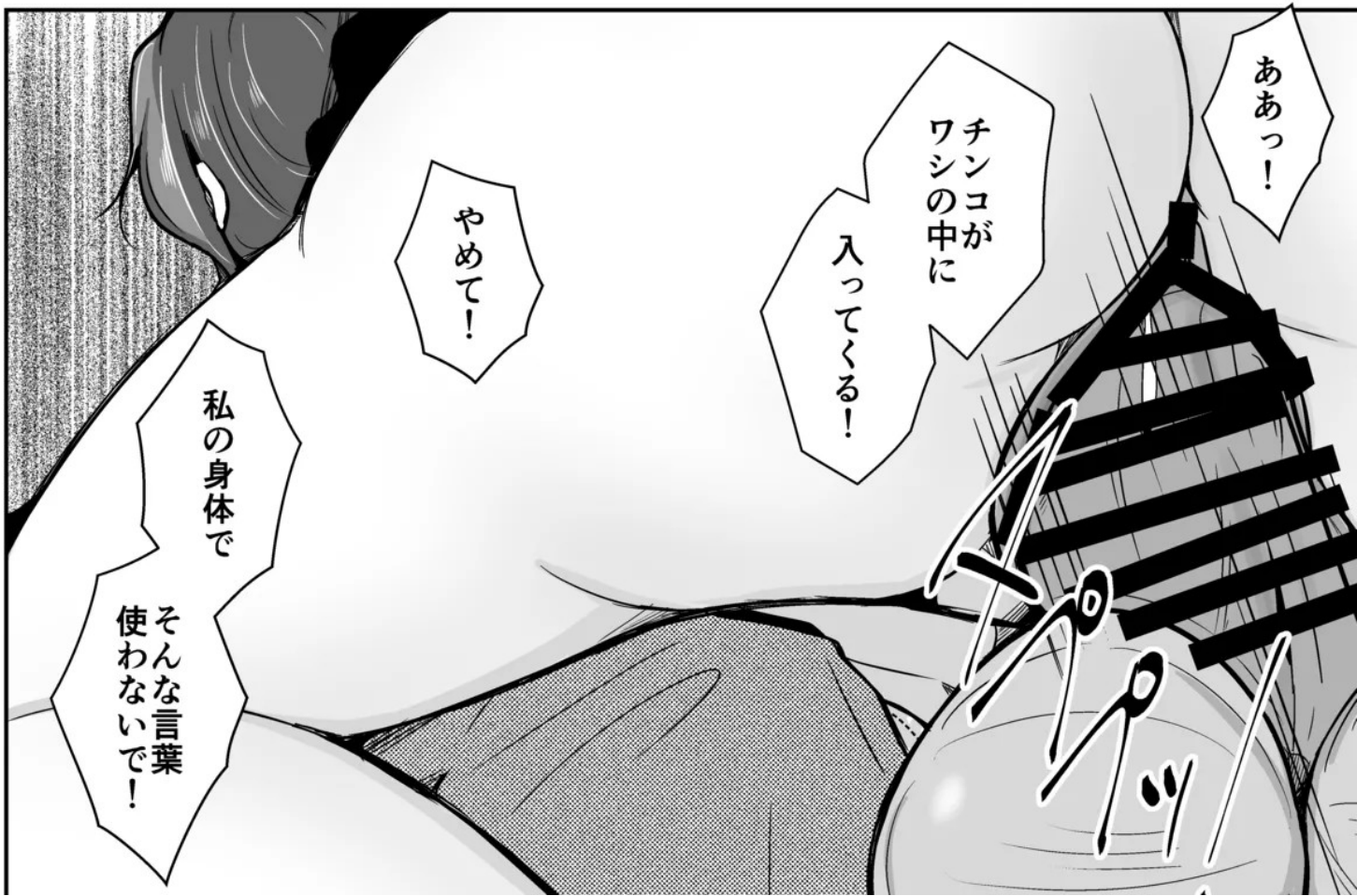
良い趣味してるよ。
君は。

確かに自分の身体なら
初めてでも

抵抗は少ないな……。



んおおおっ！



ああっ！

チンコが
ワシの中に

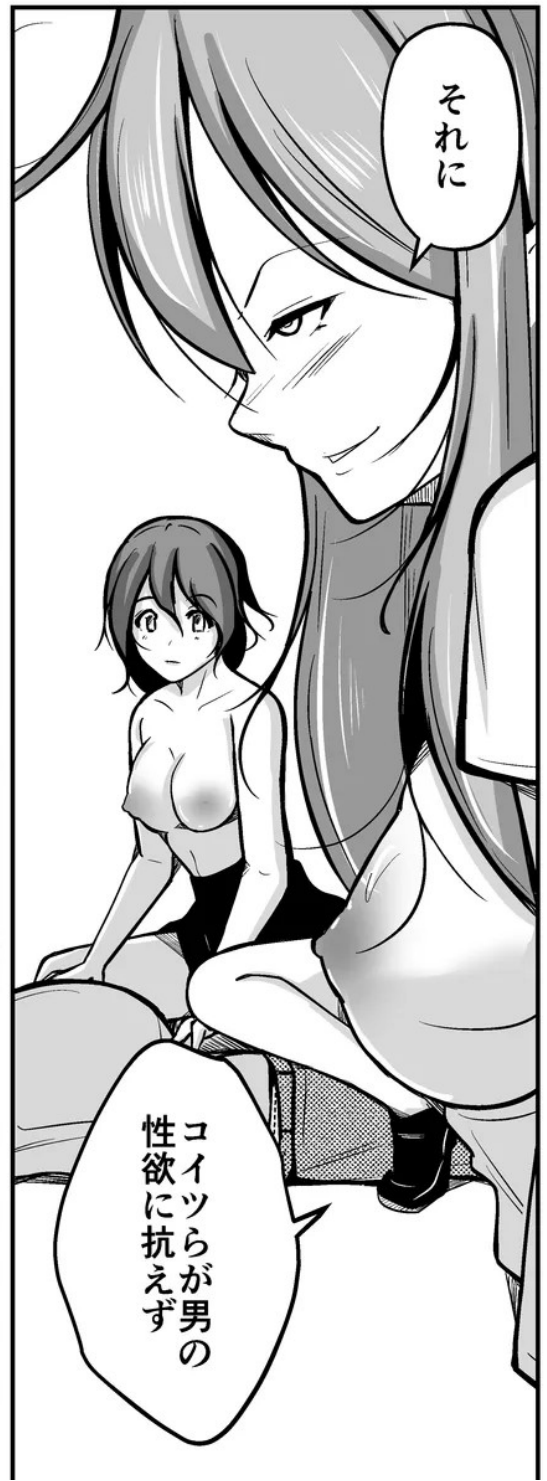
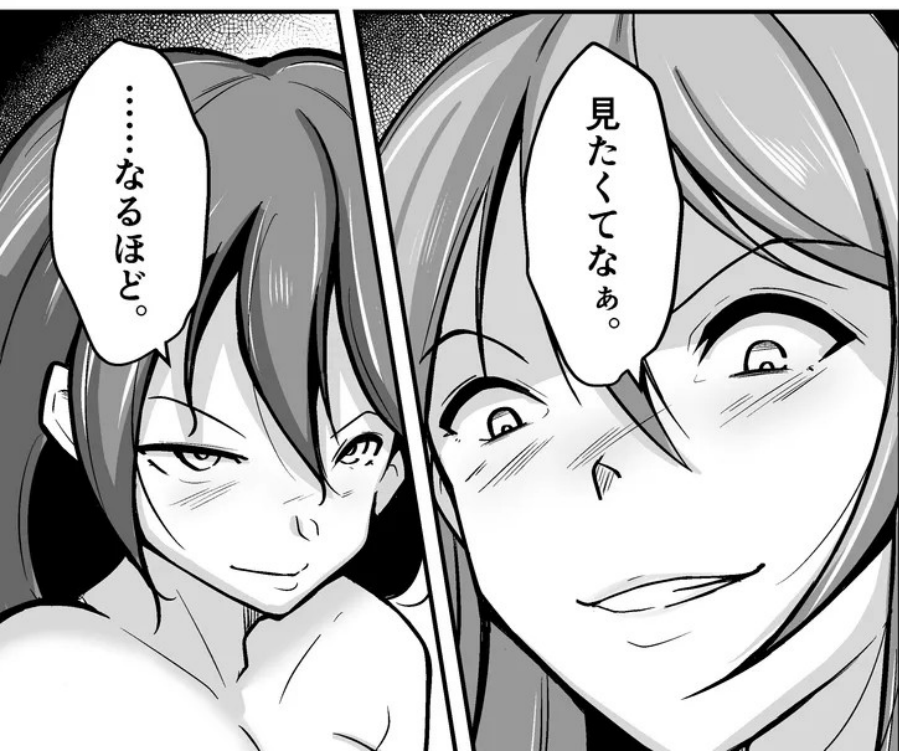
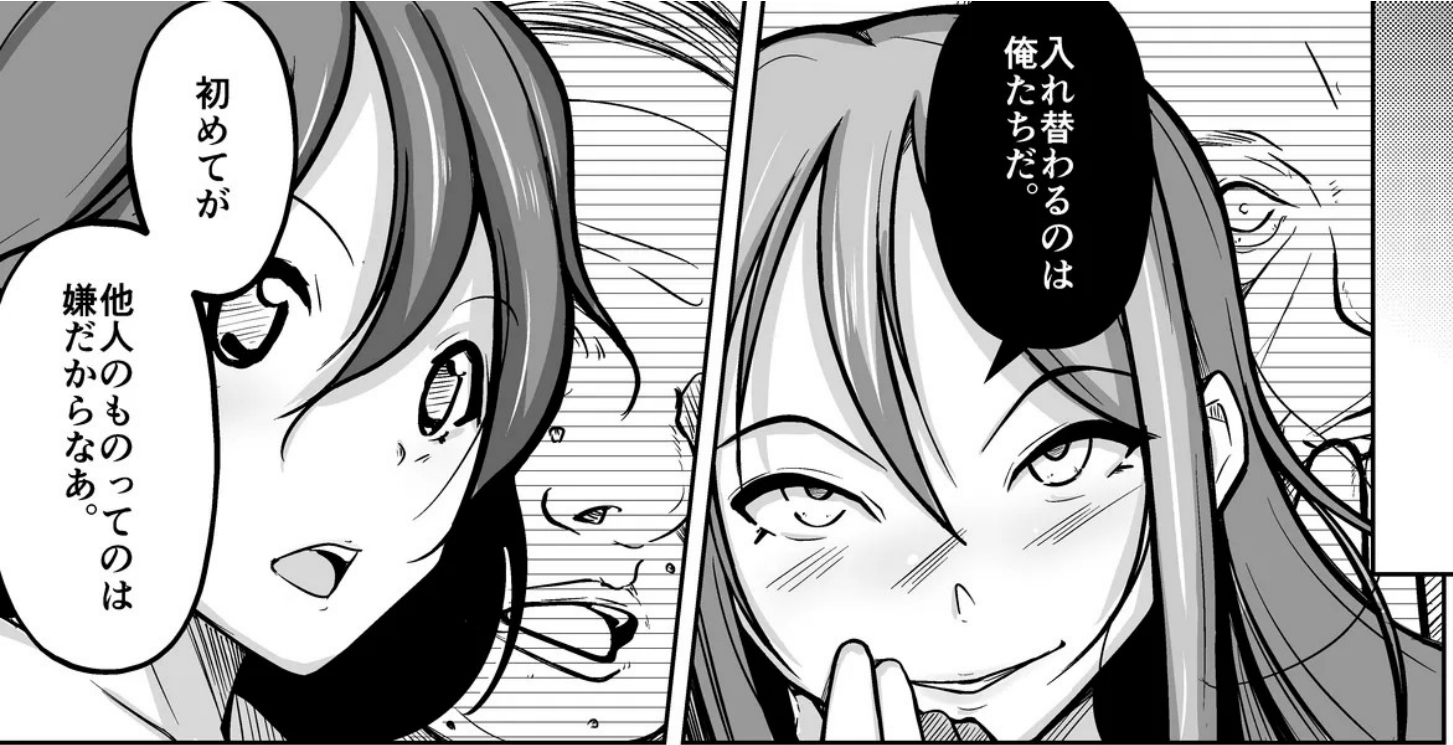
入ってくる！

やめて！

私の身体で

そんな言葉
使わないで！







凄い!

あっ!

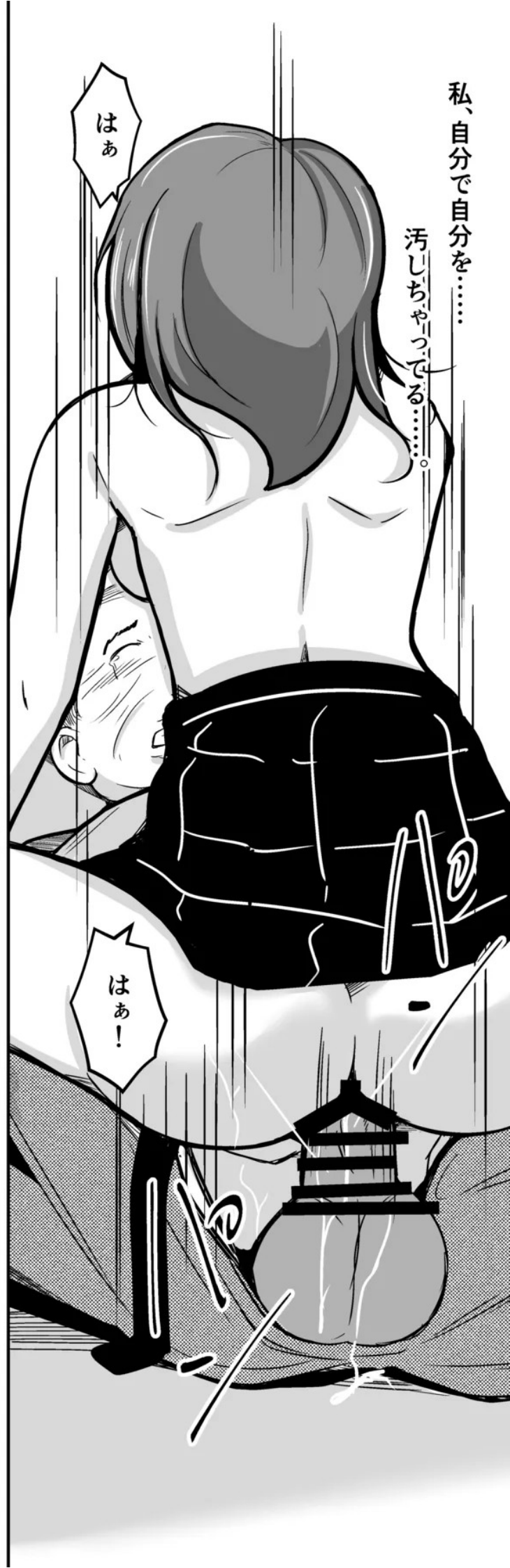
おちんちんを
入れられるのって



はあ

あっ!

こんな
感じなんだ!



私、自分で自分を……

汚しちゃってる……。

はあ

はあ!

カリの部分が

膣内で
こすれる度に

ピクピクってして
締め付けちゃう!



私の身体で

千鶴の事を
悪く言わないで!

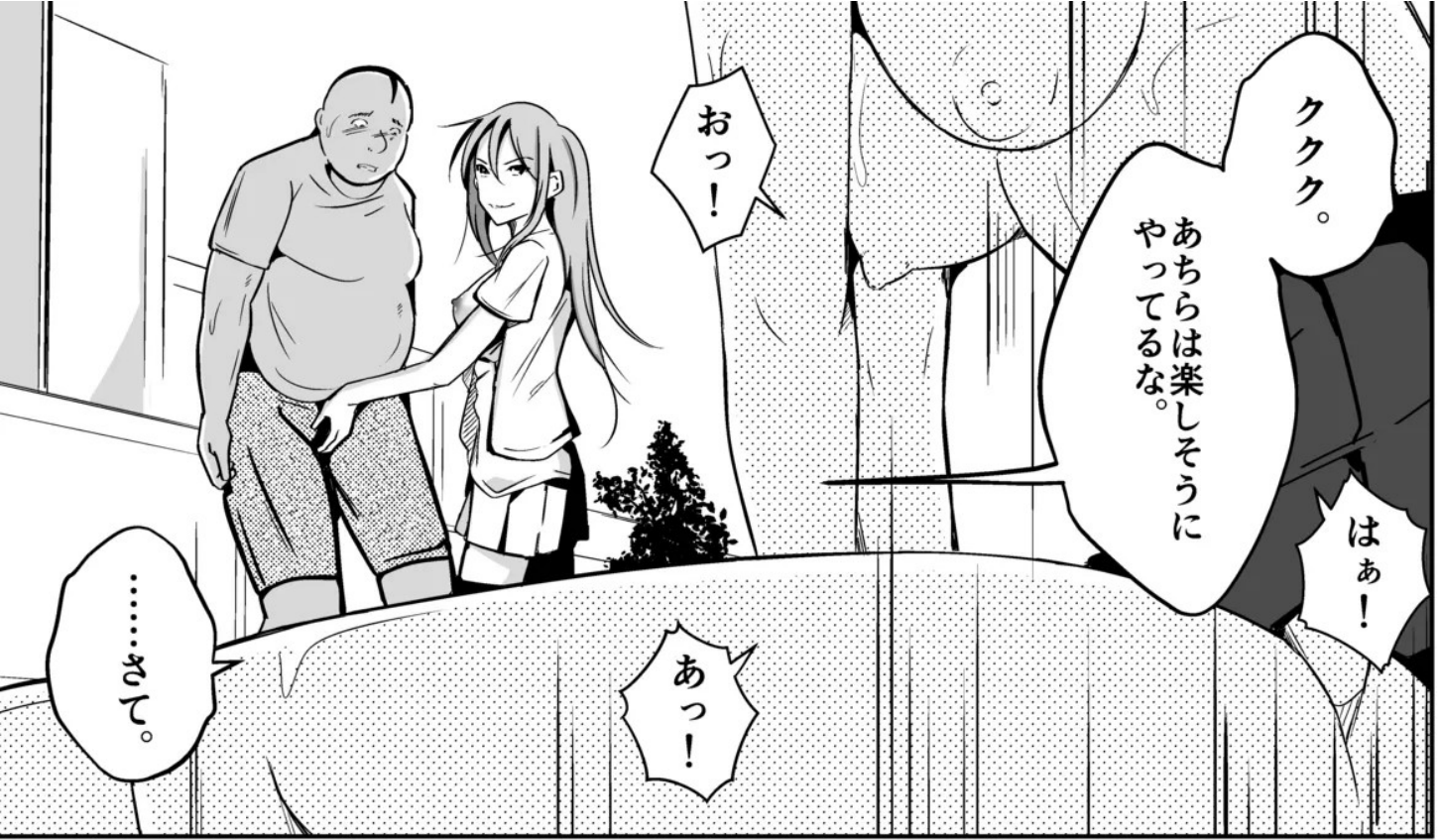
おっ!!

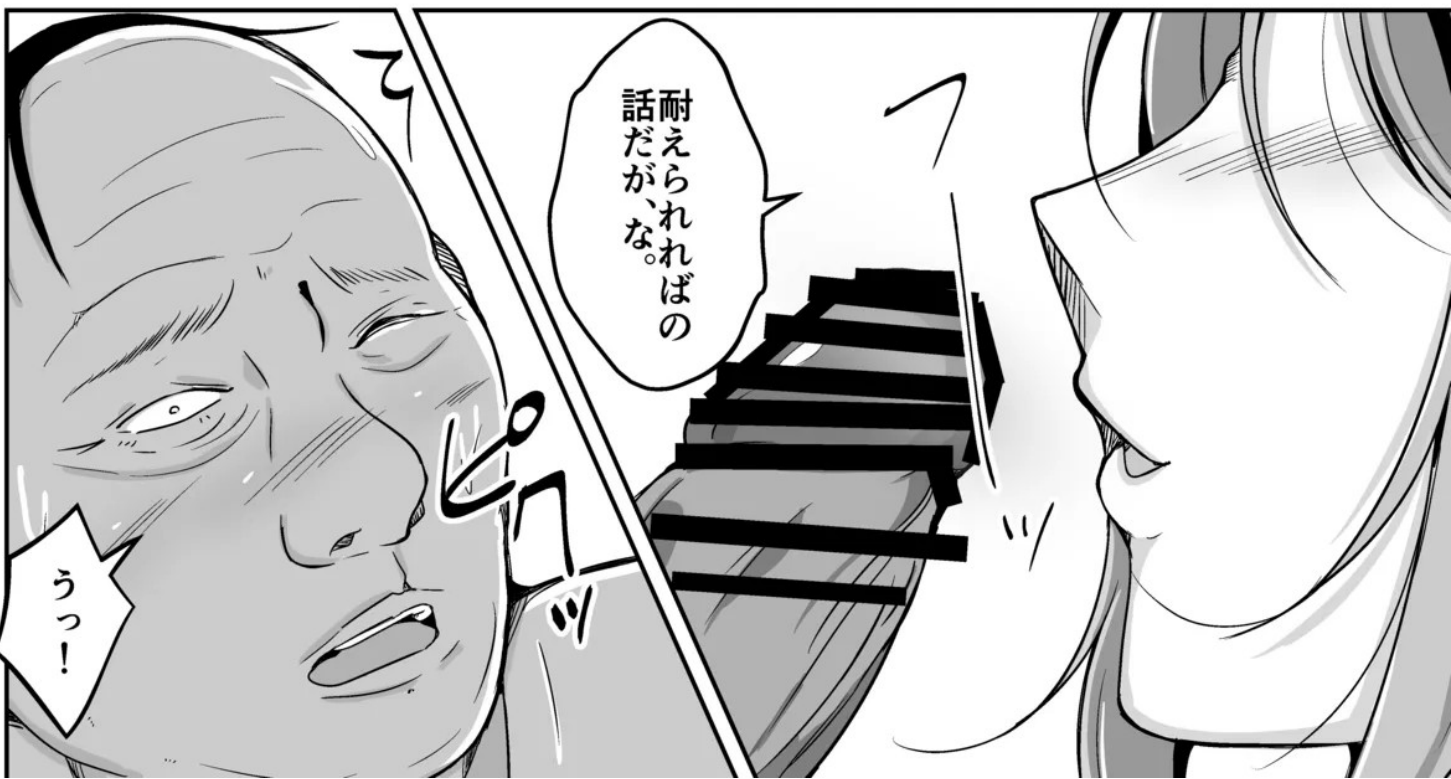
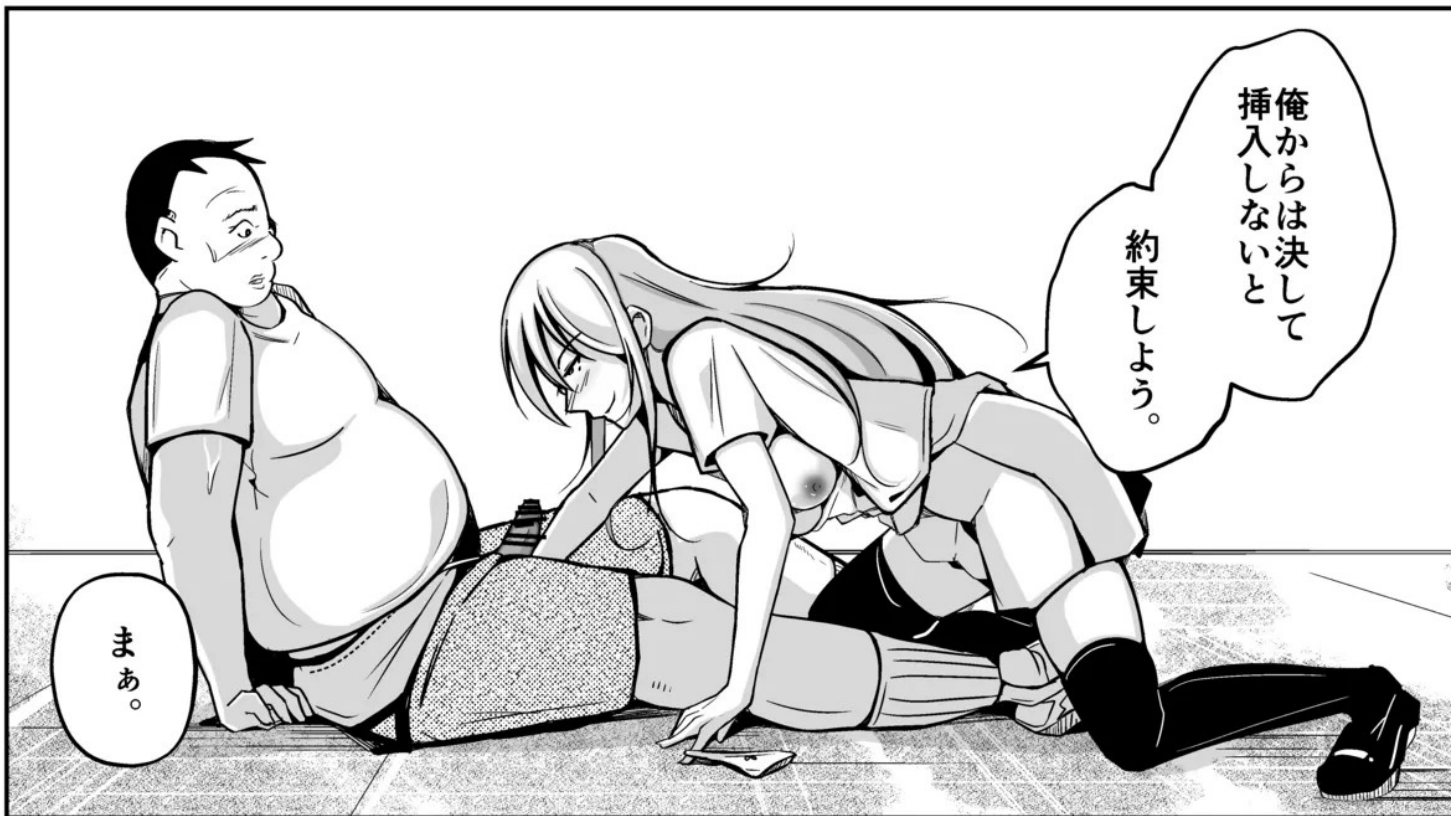
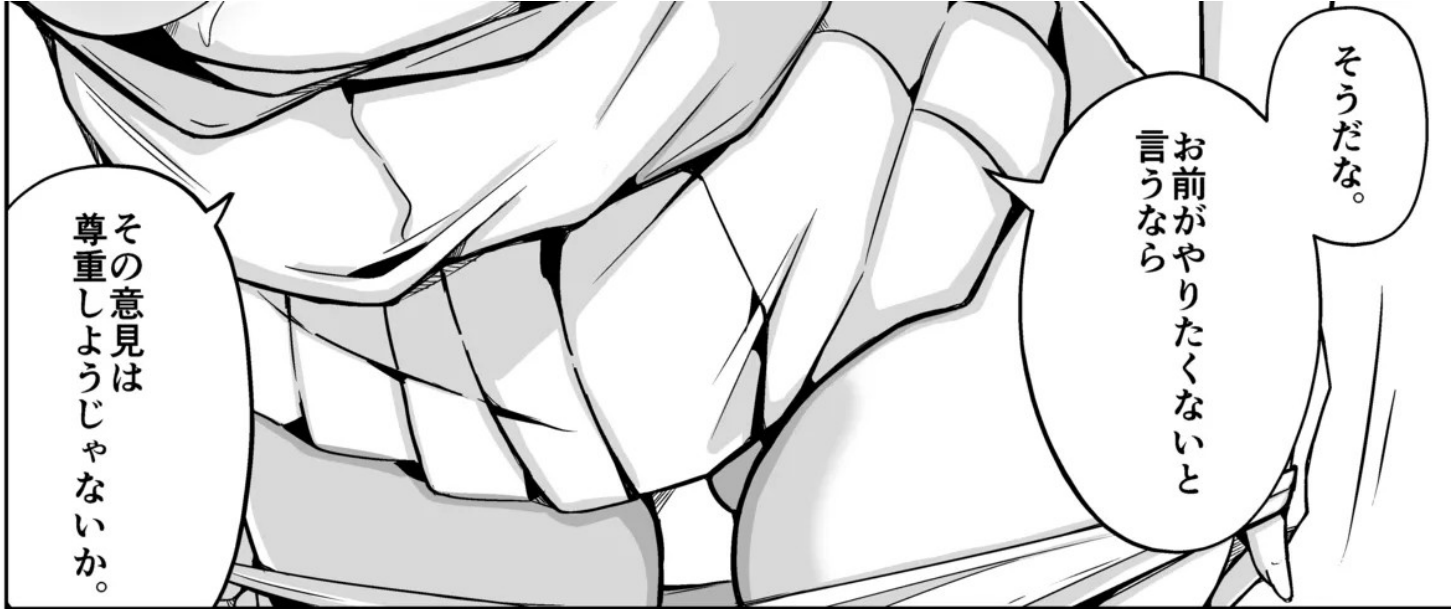
どうやらこの子の
記憶が読めるみたいだ。

めっ♡♡

という事は

この子も
ワシの記憶を……







私、男じゃない！

こんな状況で耐えられる男なんていねえと思うぜ？

くくく。

こんなものおっ勃てて

言うセリフじゃねーな。

男になったばかりなら尚更。

ガッ



とあー!

射精しろ!

うおっ!!

っ!

ははは!

こりやまた盛大に出したなあ。



まずっ！

うえっ！



女になったからには
やってみるのも
一興かと思っただが

これは二度と
やりたくねえなあ。

汚れるし、
くせえし、

何より
気持ちよくねえ。



アンタも
そう思うだろ？

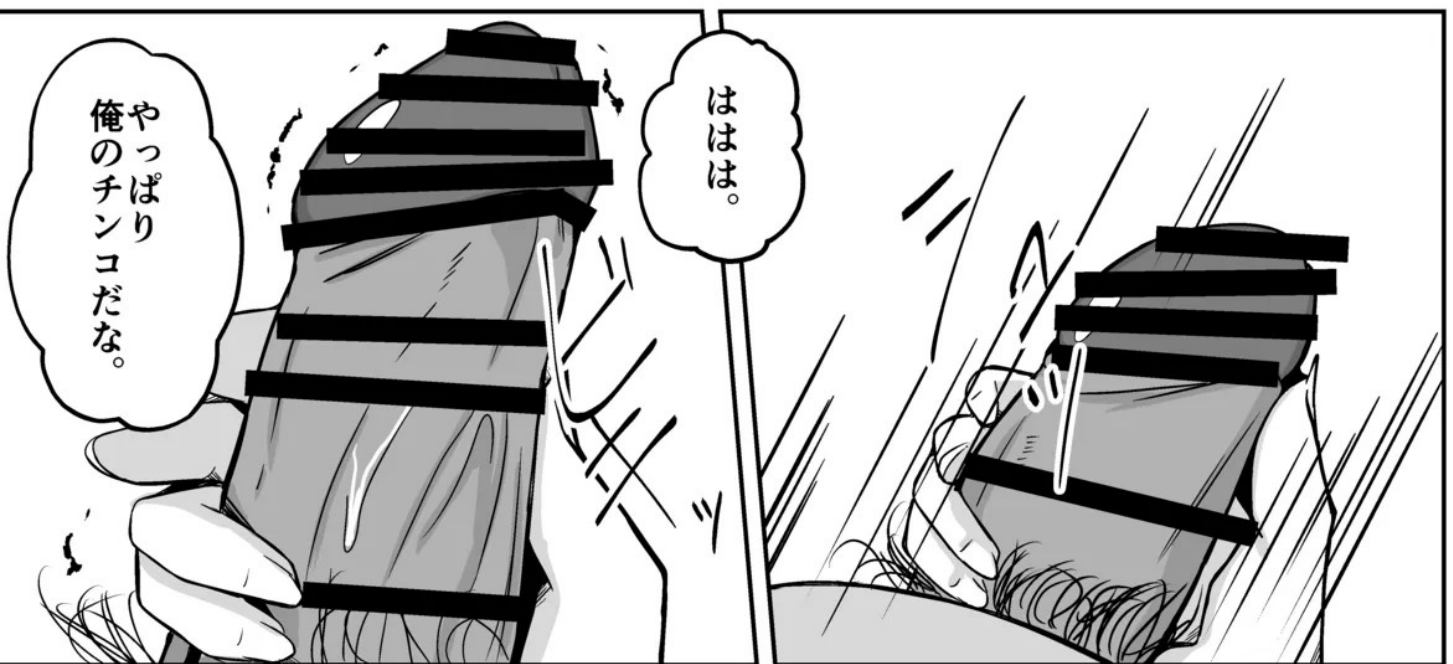
こんなもの
よく舐めるぜ。



えいっと。

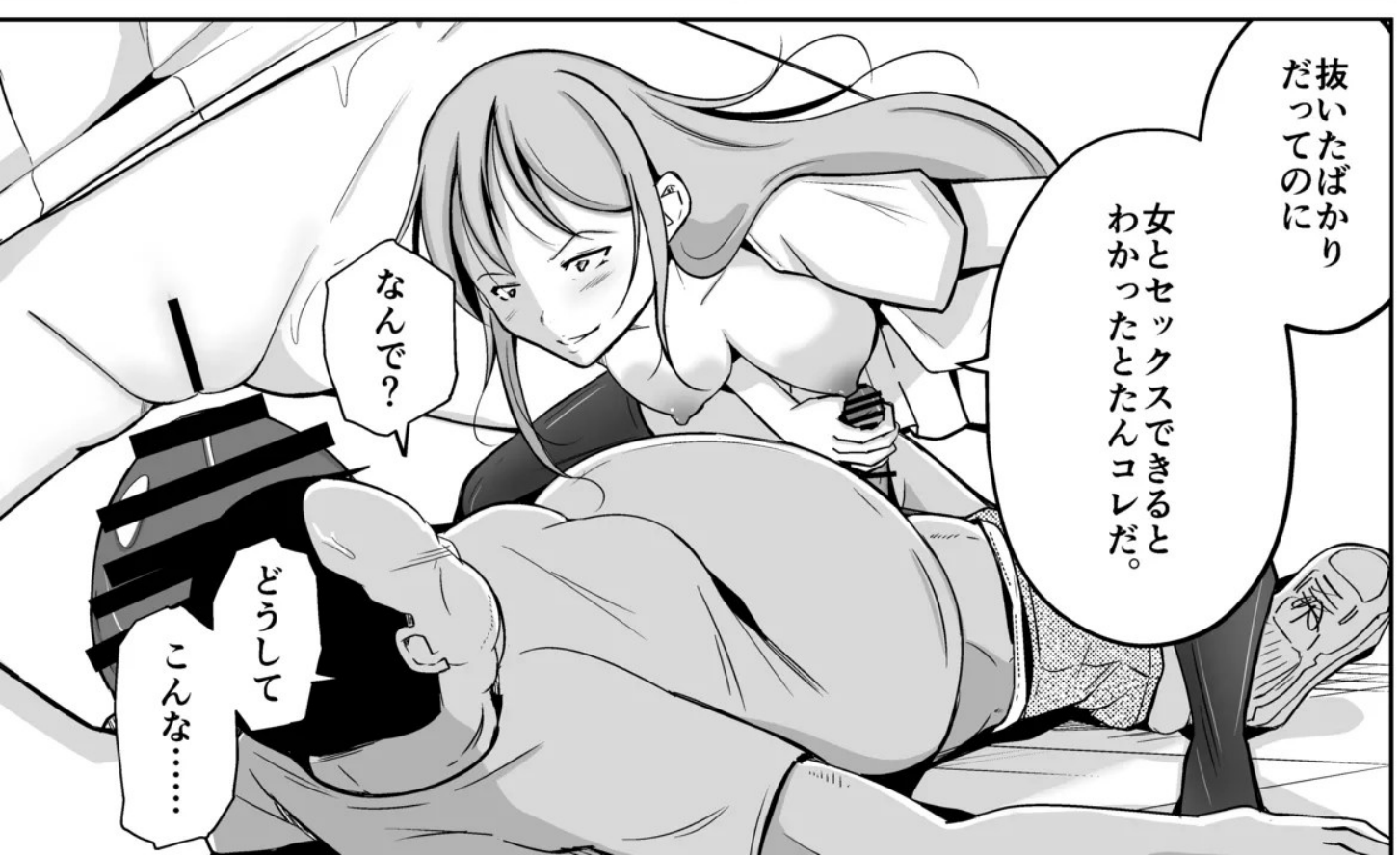
そろそろ俺も

挿入れて
みるとするかな。



ははは。

やっぱり
俺のチンコだな。



抜いたばかり
だ

女とセックスできると
わかったとたんコレだ。

なんで？

どうして

こんな……

その身体はなあ。

ああ……。

生身の女と
やった事なんて
当然無いんだわ。

暗い部屋で
一日に何度も何度も
セズリこいてよお。

だから、生身の女

しかも俺みたいなの
こんな美少女と
やれるのなら

そりゃあ。
こうなるぞ。

やめて！

喜べ。
元俺のカラダよ。



全く縁のなかった、
女性のとの
念願のセックス

俺が
味あわせて
やるからな。



すっげ。

まんこが
きゅーって締まる。

よし
動くぞ。

あ
ん

これは……
す……
すっげえ

下腹部の違和感が
徐々に和らいで
気持ち良くなっていく。

やっぱりおまんこは
チンコを挿れるように
できてるんだな。

オナニーも良かったが
コイツは段違いだぜえ！

い……
いやあああああつ！

クク

俺のまんこの中で
お前のチンコ
ピクピク反応してやがる

はあ。
たまんねえぜ。

ピクピクして
膣内を刺激する度に

そんなこと言っても
身体は正直だぜえ？

身体が
反応してしまう。

実にいいねえ。
女の身体。



もうやめてー！

本当に
何でもするから
元に戻して！



何度も
言わせるなよ。

戻さねえよ。

…良いじゃねえか。



お前は
今までの人生で
十分に女を
楽しんだら？

俺も楽しまないと
不公平だら？

それに

お前みたいなの
ブ男が

俺様みたいなの
美少女とやってるんだぜ？

その身体にしちやあ
出来過ぎなくらい

幸せなシチュエーション
じゃねえか。

むしろ感謝して
ほしくらいだ。

ククク。





ダメ!

くぼあ

我慢するのよ!
簡単な事じゃない!

自分のあそこなんて
見慣れてるじゃない!

なのはどうして……

ふふふ。
良いのよ。



さあ。
挿れなさい。

あなたは
男性なんだから。

女の私に
挿入したくなるのは
当たり前なんだよ。

そっか。
今の私は……



衝動が抑えられない!

てん
てん

男だから!

当たり前のことなんだ！

あーあーあー

ズッ

んおおっ！
激しいっ！

もうどうなっても良いや。

どうせ元に戻れないのなら
本能が赴くままに

あはははは！

完全に欲望に
のまれおったな！

この性欲を満たすために

犯して犯して！

ズッ

犯しまくってやる！

ああ……。

俺、今、女として
犯されてる！

どうやうでも
抵抗できない男の力！

女って何で非力なんだ！

女らしく
嬌声を漏らして

あ
ん

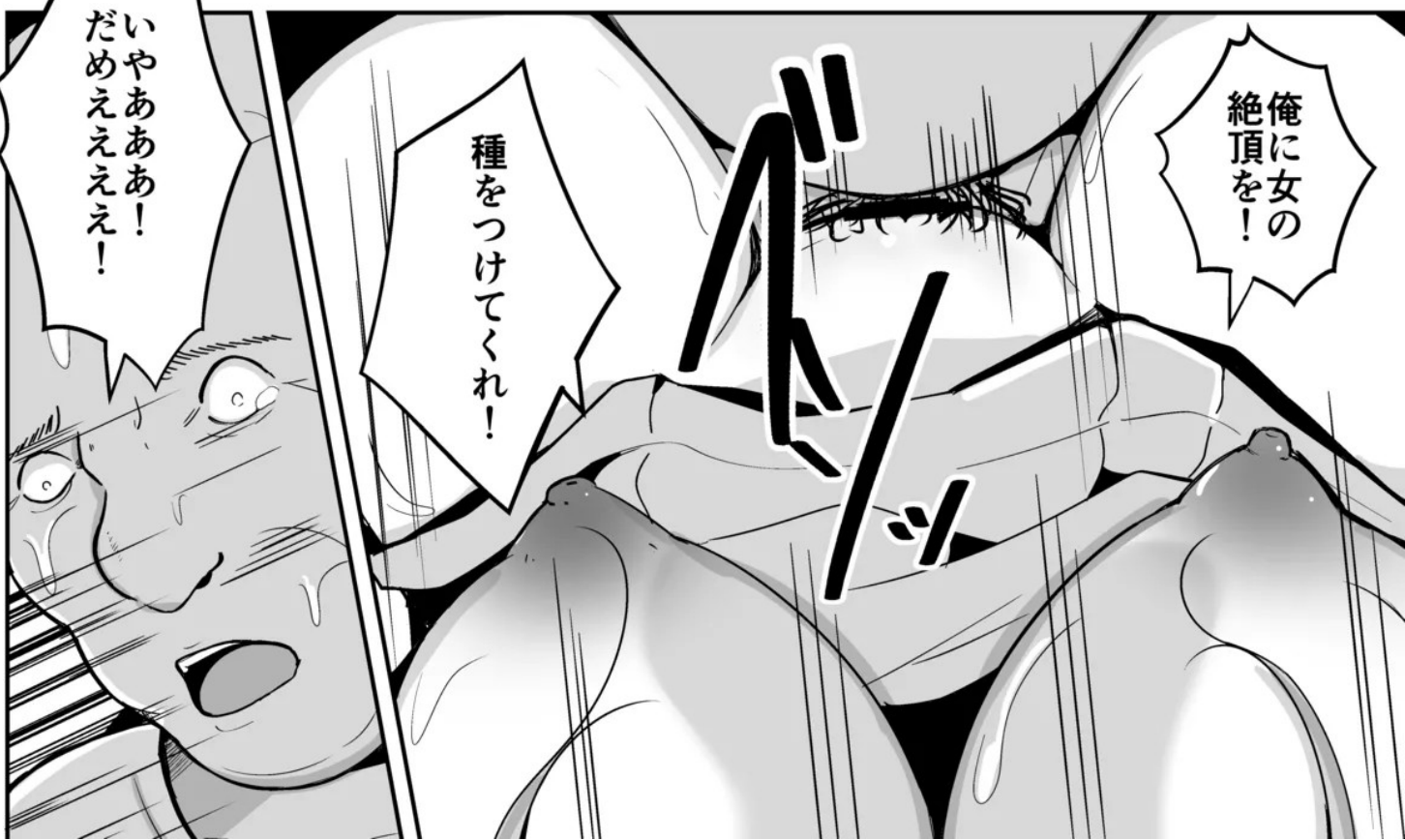
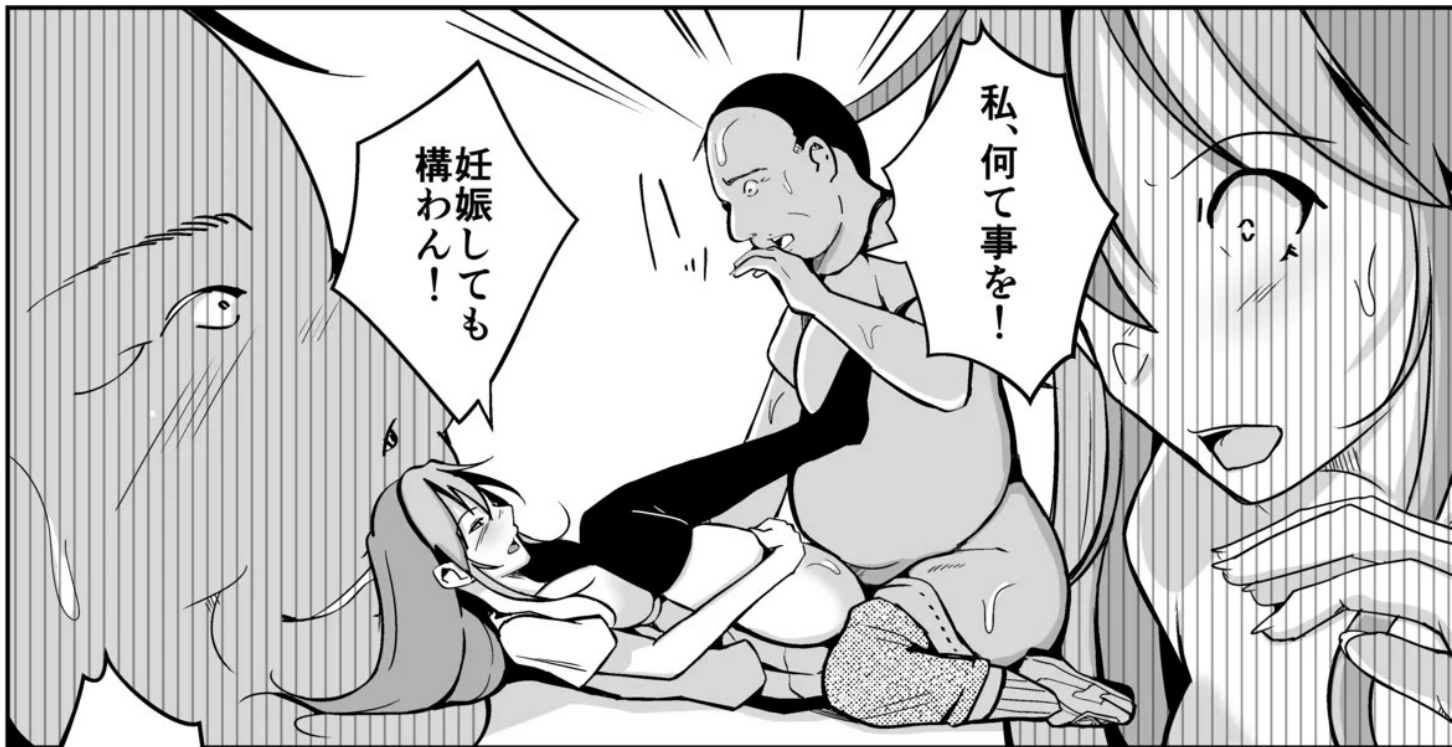
でもそれを
俺はすべて望んで受け入れて

感じて

あ
ん

ひ
ん

ああ。
何と倒錯的な……



——これは、
この子の記憶……？

そうか。

君も
苦労してたんだな。

そりゃ、
こんな事されたら

千鶴ちゃんのこと
好きになるよね。

やめて！
私の記憶読まないで！



お互い様
じゃないか。

君もワシの記憶を
読んでるんだろ？

じゃなきゃ、
こんなにも
自ら腰振って

獣のような目に
ならないからなあ。

ふっ！

…知ってるかい？

はっ！



今の君は
アイツらと同じ目を
してるんだよ。

自分を強姦した
奴らと。

嘘っ？
私…どうして

こんな事を……

おほおほ
おほおほ
おほおほ

みじめな
生活だろ？

セックスはおろか、
家族以外の女
というものに

触れた事も
無い人生だったんだ。

しかも性欲は
人一倍強くてね。

いつだって女と
やる事を
妄想してたよ。

—だから

今のこの状況は
ワシの願望そのもの。

理性で抑えられる
はずがないわな。



私、自分に
膣内射精しちゃってるの。



あああ

それが、

たまたまなく
嬉しいのよ……？



流石にバカなお前でも
気付いたか？

他人になった俺が
何故使えるのか？
俺の身体である自分
何故使えないのか？
って。

魂の情報でロックが
解除される
仕組みなんだよ。

だから俺がいくら身体を
乗り換えようが
他人に俺の身体を
使われようが
関係ないって事さ。

UNLOCK



まあ。
誤動作するとしたら
俺と似たような
歪んだ心の持ち主が
使った場合かな？

まあ。
君たちのような
人種が使っても
万に一つも
誤動作は無いんだよ。

ククク。

そ、そんな…

ああ。
それと……



キヤツ



ここでお別れに
なりそうだな。

…?



また君か!

署まで
同行願おうか。



この間は
上手く逃げれた
ようだが

さすがに今回は
豚箱送りだろう?



じゃあな、
元俺。

君のこれから
輝かしい人生は
俺が引きづるよ。



ただいま〜っと。



17:05
10月15日 金曜日

数秒前
魂を抜き取る銃 001に
不正なアクセスを
確認しました。

これは
どういう事だ？